

「居宅介護支援（ケアマネジメント）に係る  
利用者負担導入による影響調査」

～居宅介護支援利用者調査～

とりまとめ報告書

令和8（2026）年3月

一般財団法人 長寿社会開発センター



## はじめに

居宅介護支援事業者が居宅の要介護者に対して行うケアプランの作成やサービス事業者との連絡調整等、いわゆる「ケアマネジメント」は、要介護者等が積極的に介護保険サービスを利用できるよう、介護保険制度創設時からこれまでの間、10割給付のサービスとして位置づけられています（利用者負担なし）。

しかしながら、「経済財政諮問会議」において、平成30（2018）年12月20日に初めて、「介護のケアプラン作成について給付の在り方を検討する」ことが示されて以降、「経済財政諮問会議」では、度々、居宅介護支援（ケアマネジメント）に関する給付の在り方が指摘されています。

また、令和7（2025）年5月27日の「激動の世界を見据えたあるべき財政運営」（財政制度等審議会）においても、『ケアマネジメントに関する給付のあり方の検討』が示されました。

こうしたことから、今後の介護保険部会等において「居宅介護支援（ケアマネジメント）に対する利用者負担の導入」が議論の遡上にあがることが容易に想像できます。

そこで、長寿社会開発センターでは、仮に「居宅介護支援（ケアマネジメント）」において利用者負担が導入された場合、負担導入の賛否と適当と考えるひと月あたりの料金、介護保険サービスの利用への影響の有無やケアマネジャーに望むこと等を把握することを目的に調査（Web調査）を行いました。

本調査結果は、

- ・『居宅介護支援利用者』（介護保険制度における「居宅介護支援」を利用している要介護者（65歳以上））

に対し行った結果です。

なお、本調査とは別に

- ・『居宅介護支援利用者を介護している家族等』
- ・『居宅介護支援事業所に勤務している介護支援専門員の方』

を対象に類似の調査も行っています。

本調査終了後、令和7（2025）年12月25日、社会保障審議会介護保険部会（以下、「本部会」という）は、「介護保険制度の見直しに関する意見」を公表しました。

本部会では、本調査の主眼である【ケアマネジメントに関する給付の在り方】についても議論され、利用者負担を導入することにより利用控えが生じ得るなどの利用者への影響の懸念も示しています。

当センターが行った調査では、

介護支援専門員に対し「ケアマネジメントが有料化となった際のメリット、デメリット」を、また、

利用者、介護する家族等に対し「利用者負担導入となった場合の対応」についても調査を行っています。「介護保険制度の見直しに関する意見」を踏まえながら、本調査結果をご覧いただくことをお勧めします。

なお、お読みいただく際は、本『居宅介護支援利用者調査』の回答数が、別の調査『居宅介護支援利用者を介護している家族等』、『居宅介護支援事業所に勤務している介護支援専門員の方』と比べ、少数であることにご留意ください。

最後に、本調査研究の実施にあたり、回答にご協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。

令和8（2026）年3月

一般財団法人 長寿社会開発センター



# 目 次

(1) 調査概要	1
1. 背景と目的	2
2. 実施方法等	2
1) 調査対象	2
2) 調査方法	3
3) 倫理的配慮	3
3. 結果概要	4
(2) 総括	15
(3) 調査結果	27
1. 現在の要介護認定区分	28
2. 介護保険サービス利用料の負担感	29
3. 担当ケアマネジャーに対する満足度	30
4. ケアマネジメントが無料であることの認知度	31
5. ケアマネジメントを有料化とし場合の賛否	35
6. 適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金	41
7. ケアマネジメントが有料化となった場合、 介護保険サービスの利用にあたっての対応	47
8. ケアマネジメントが有料化となった場合、 「ケアマネジャー」に望むこと	56
9. ケアマネジメントが有料化となった場合、 「介護保険制度」に望むこと	62
(4) 調査票	65



## **(1) 調査概要**

## 1. 背景と目的

居宅介護支援事業者が居宅の要介護者に対して行うケアプランの作成やサービス事業者との連絡調整等、いわゆる「ケアマネジメント」は、要介護者等が積極的に介護保険サービスを利用できるよう、介護保険制度創設時からこれまでの間、10割給付のサービスとして位置づけられている（利用者負担なし）。

しかしながら、「経済財政諮問会議」において、平成30（2018）年12月20日に初めて、「介護のケアプラン作成について給付の在り方を検討する」ことが示されて以降、「経済財政諮問会議」では、度々、居宅介護支援（ケアマネジメント）に関する給付の在り方が指摘されている。

また、令和7（2025）年5月27日の「激動の世界を見据えたあるべき財政運営」（財政制度等審議会）においても、『ケアマネジメントに関する給付のあり方の検討』が示された。

こうしたことから、今後の介護保険部会等において「居宅介護支援（ケアマネジメント）に対する利用者負担の導入」が議論の遡上にあがることが容易に想像できる。

そこで、長寿社会開発センターでは、仮に「居宅介護支援（ケアマネジメント）」において利用者負担が導入された場合、負担導入の賛否と適当と考えるひと月あたりの料金、介護保険サービスの利用への影響の有無やケアマネジャーに望むこと等を把握することを目的に調査（Web調査）を行った。

## 2. 実施方法等

### 1) 調査対象

調査日時時点で、以下に該当する方。

- ・ 調査会社に登録している65歳以上で要介護1～5の認定を受けている方。
- ・ 自宅（サービス付き高齢者向け住宅含む）で生活しており、介護保険制度における「居宅介護支援事業者」に利用申込をし、かつ契約をしている方。

（※介護予防支援や介護保険施設のほか、（介護予防）特定施設入居者生活介護、地域密着型サービス（特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護（いずれも予防含む））の利用者は除きます。）

- ・ 本調査に関し、調査協力者自身の同意が得られる方。
- ・ 回答後の同意の撤回は難しいことにも承諾いただける方。

## 2) 調査方法

- ・ 調査実施期間中に、Web調査会社に登録している調査対象者を対象に、300件を目途にWeb調査を実施。当センターが作成した調査票をもとに、配信、回収はWeb調査会社が実施。
- ・ 調査期間は、令和7（2025）年10月7日～11月1日
- ・ 有効回答数300件（回収数300件）

## 3) 倫理的配慮

- ・ 本調査は、一般財団法人長寿社会開発センター研究倫理審査委員会の承認を得て実施（承認番号:2025-05）。

### 3. 結果概要

#### 3\_1. 要介護認定区分と介護保険サービスの利用料の負担感、 担当ケアマネジャーへの満足度

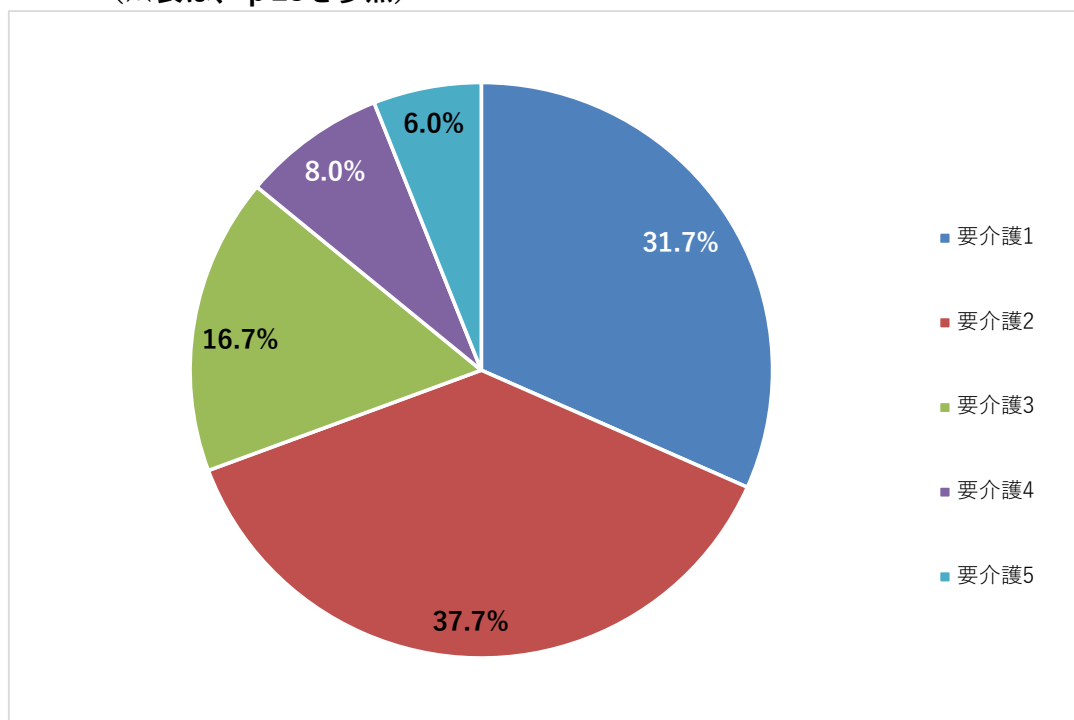
回答者（利用者本人）の現在の要介護認定区分は、「要介護2」が最も多く37.7%であった。

なお、全回答者の内、「要介護1」と「要介護2」で約7割（69.4%）を占めていた（図表1-1）。

現在、利用している介護保険サービスの利用料に対する負担感は、「普通」が最も多く41.3%であったが、負担感が「大きい」、「普通」、「小さい」の類型別にみると、負担感が「大きい」の回答が46.0%を占めていた（図表1-2）。

担当するケアマネジャーに対する満足度を「満足」、「不満」の類型別にみると、「満足」の回答が87.3%に達していた（図表1-3）。[Q1～Q3]

図表1-1：Q1「（回答者の）要介護認定区分」（SA）の分布  
（※表は、p28を参照）



図表1-2：Q2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA)の分布  
 (※図は、p29を参照)

	N	%	
大きい	41	13.7%	} 46.0%
やや大きい	97	32.3%	
普通	124	41.3%	
やや小さい	12	4.0%	} 12.7%
小さい	26	8.7%	
全体	300	100.0%	

図表1-3：Q3「ケアマネジャーに対する満足度」(SA)の分布  
 (※図は、p30を参照)

	N	%	
満足している	103	34.3%	} 87.3%
まあまあ満足している	159	53.0%	
やや不満	31	10.3%	
不満	7	2.3%	
全体	300	100.0%	

### 3\_2. ケアマネジメントが無料であることの認知度と ケアマネジメント有料化への賛否

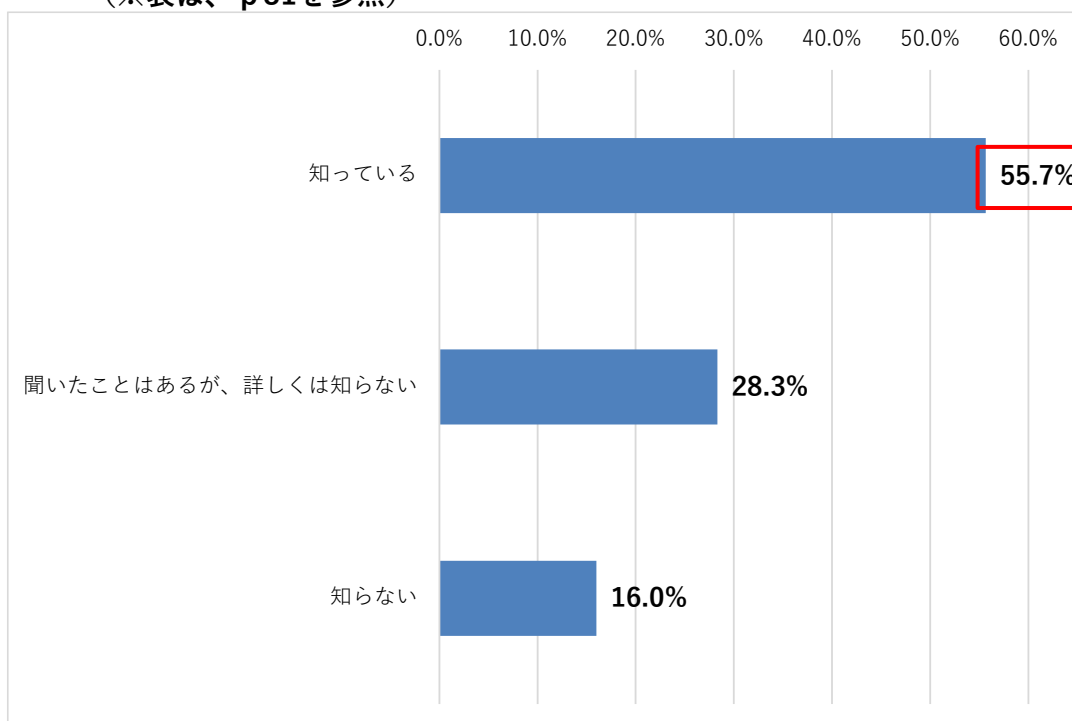
ケアマネジメントが無料であることを「知っている」の回答が半数以上の55.7%みられた（図表1-4）。

また、ケアマネジメントが有料化となった場合の賛否は、「どちらかという」と反対」の回答が最も多く38.7%であった。

「賛成」、「反対」の類型別にみると、  
「賛成」40.0%、「反対」60.0%であった（図表1-5）。 [Q4～Q5]

なお、介護保険サービスの利用料に対する回答者（利用者本人）の負担感別に、ケアマネジメントの有料化の賛否をみると、利用料の負担感が「大きい」ものほど、有料化に対して「賛成」の回答の計が大きかった（図表1-6）。

**図表1-4：Q4「ケアマネジメントが無料であることの認知度」（SA）の分布**  
（※表は、p 31を参照）

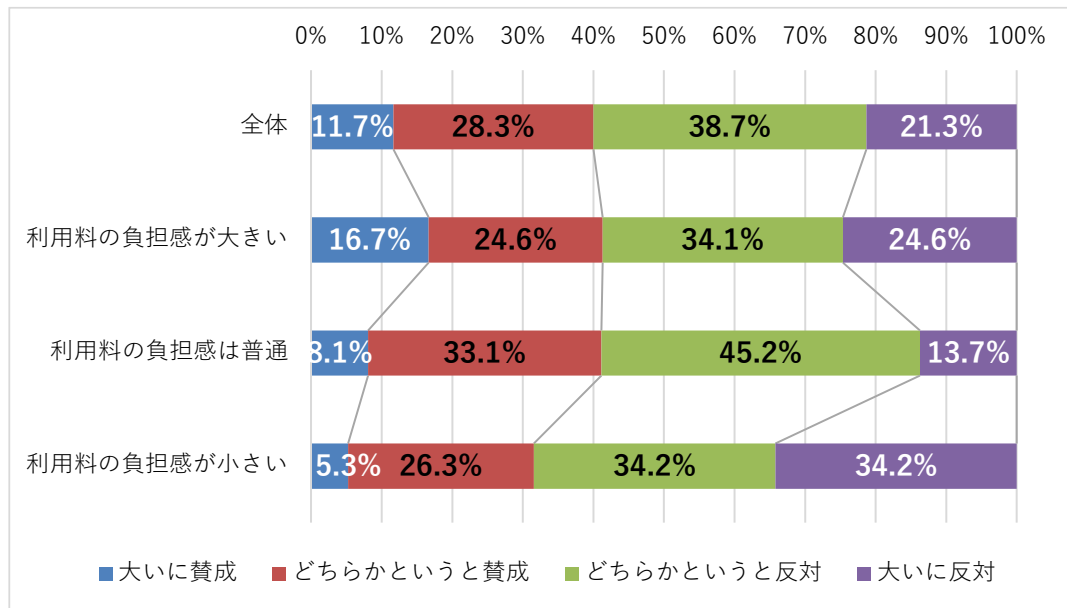


**図表1-5：Q5「ケアマネジメント有料化への賛否」（SA）の分布**  
（※図は、p 35を参照）

	N	%	
大いに賛成	35	11.7%	40.0%
どちらかという」と賛成	85	28.3%	
どちらかという」と反対	116	38.7%	60.0%
大いに反対	64	21.3%	
全体	300	100.0%	

図表1-6：Q5「ケアマネジメント有料化の賛否」(SA)と  
Q2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA)の  
クロス集計 (N=300)

(※表は、p37を参照)



### 3.3. 適当と考えるケアマネジメント料金（ひと月あたり）

仮に、ケアマネジメントが有料化となった場合、回答者（利用者本人）が考えるひと月あたりの金額は、「500円未満」が最も多く38.0%であった。

なお、平均1014.50円であったが、「2,000円以上」の回答が15.7%みられた（図表1-7）。[Q6]

また、回答者（利用者本人）の要介護度別に、適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金をみると、

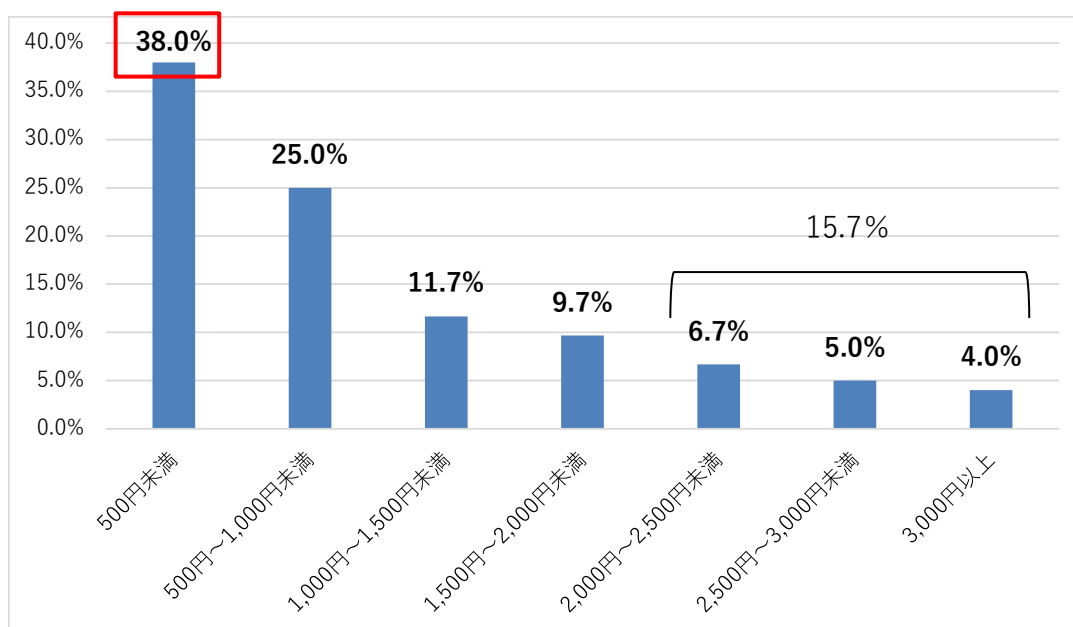
「要介護4」は「1,000円～2,000円未満」の回答が最も多く33.3%、それ以外の要介護度では「500円未満」の回答が最も多かった（図表1-8）。

「激動の世界を見据えたあるべき財政運営」資料（2025年5月27日）の試算では、『1割負担・要介護2・自己負担額：月1,400円程度（粗い試算）』であったが、本調査では、「要介護2」の平均額は、926.49円であった。

図表1-7：Q6「適当と考えるケアマネジメント料金（ひと月あたり）」

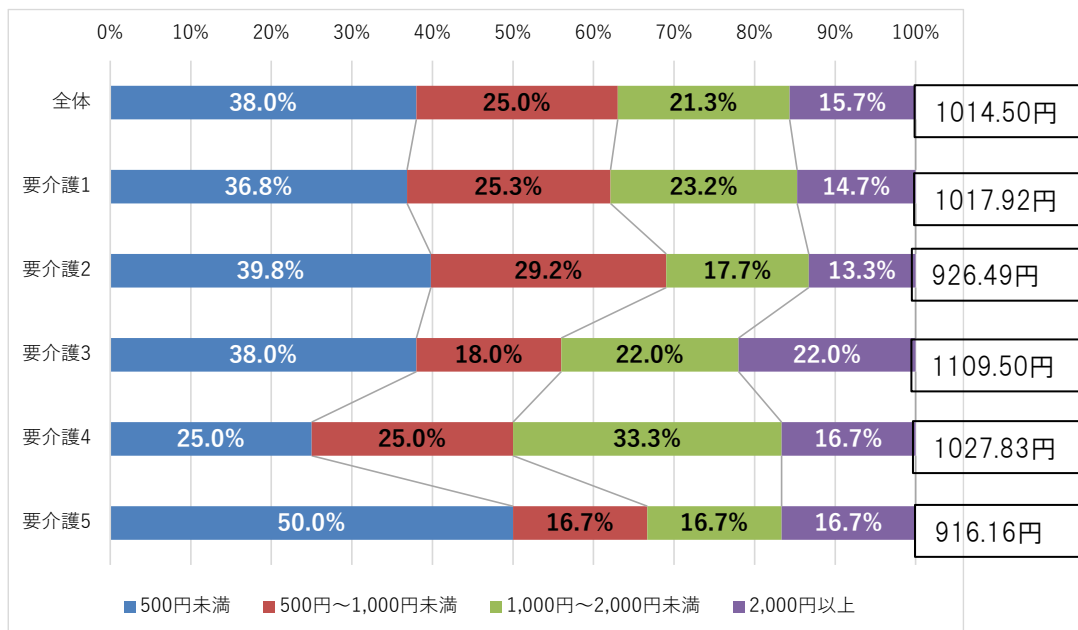
(SA) の分布

(※表は、p41を参照)



図表1-8：Q6「適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金」  
 (SA) とQ1「要介護度」(SA) のクロス集計 (N=300)

(※表は、p43を参照)



カイ2乗検定： $p > .05$

※□で示した額は平均額。

### 3\_4. ケアマネジメントが有料化となった場合、 介護保険サービス利用の対応、変化

仮に、ケアマネジメントが有料化となった場合、介護保険サービスの利用にあたっての回答者（利用者本人）の対応は、

・「①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける」が約半数の49.7%を占めていた。

一方で、

・「③利用する介護保険サービスを減らす」の回答が17.3%みられた（図表1-9）。[Q7]

介護保険サービスの利用料に対する負担感と、回答者（利用者本人）の介護保険サービスの利用との関係を見てみると、負担感が「大きい」場合であっても、

・「今までと変わらずに介護保険サービスを受ける（「②サービス事業者を変えても今までどおり介護保険サービスを受ける」を含む）」

と回答した者が55.0%に達し、過半数を占めていた。

一方で、

・「⑥ケアプラン作成を自分または家族等で作成する」

と回答した割合は、負担感が「大きい」者や「普通」と回答した者よりも、負担感が「小さい」者での回答の割合が多かった（図表1-10）。

さらに、ケアマネジャーに対して「満足」と感じている回答者（N=103）の介護保険サービスの利用の対応を見てみると、

・「今までと変わらずに介護保険サービスを受ける（「②サービス事業者を変えても今までどおり介護保険サービスを受ける」を含む）」

と回答した者が67.0%みられた。

また、人数は少ないが「不満」である者も、

・「今までと変わらずに介護保険サービスを受ける（「②サービス事業者を変えても今までどおり介護保険サービスを受ける」を含む）」

と回答した者が57.2%みられた（図表1-11）。

図表1-9：Q7「有料化となった場合の介護保険サービス利用の対応、  
変化」(SA)の分布  
(※図は、p48を参照)

	N	%
①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける	149	49.7%
②有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える	30	10.0%
③利用する介護保険サービスを減らす	52	17.3%
④介護保険施設での生活を考える	7	2.3%
⑤生活費を節約する	26	8.7%
⑥ケアプランの作成をケアマネジャーに頼むことをやめて、自分または家族等で作成する	19	6.3%
⑦ケアマネジャーの情報を集める	14	4.7%
⑧その他	3	1.0%
全体	300	100.0%

図表1-10：Q7「ケアマネジメントが有料化となった場合の回答者(利用者本人)の対応」(SA)とQ2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA)のクロス集計(N=300)

(※図は、p53を参照)

	全体	①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける	②有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える	③利用する介護保険サービスを減らす	④介護保険施設での生活を考える	⑤生活費を節約する	⑥ケアプランの作成をケアマネジャーに頼むことをやめて、自分または家族等で作成する	⑦ケアマネジャーの情報を集める	⑧その他
全体	300	149	30	52	7	26	19	14	3
	100.0%	49.7%	10.0%	17.3%	2.3%	8.7%	6.3%	4.7%	1.0%
利用料の負担感が大きい	138	58	18	30	5	11	10	5	1
	100.0%	42.0%	13.0%	21.7%	3.6%	8.0%	7.2%	3.6%	0.7%
利用料の負担感は普通	124	73	7	20	1	11	4	7	1
	100.0%	58.9%	5.6%	16.1%	0.8%	8.9%	3.2%	5.6%	0.8%
利用料の負担感が小さい	38	18	5	2	1	4	5	2	1
	100.0%	47.4%	13.2%	5.3%	2.6%	10.5%	13.2%	5.3%	2.6%

カイ2乗検定： $p>.05$

図表1-11：Q7「ケアマネジメントが有料化となった場合の回答者（利用者本人）の対応」（SA）とQ3「ケアマネジャーに対する満足度」（SA）のクロス集計（N=300）

（※図は、p55を参照）

	全体	①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける	②有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える	③利用する介護保険サービスを減らす	④介護保険施設での生活を考える	⑤生活費を節約する	⑥ケアプランの作成をケアマネジャーに頼むことをやめて、自分または家族等で作成する	⑦ケアマネジャーの情報を集める	⑧その他
<b>全体</b>	<b>300</b>	<b>149</b>	<b>30</b>	<b>52</b>	<b>7</b>	<b>26</b>	<b>19</b>	<b>14</b>	<b>3</b>
	100.0%	49.7%	10.0%	17.3%	2.3%	8.7%	6.3%	4.7%	1.0%
満足している	103	62	7	15	1	10	6	2	0
	100.0%	60.2%	6.8%	14.6%	1.0%	9.7%	5.8%	1.9%	0.0%
まあまあ満足している	159	77	16	28	5	14	10	7	2
	100.0%	48.4%	10.1%	17.6%	3.1%	8.8%	6.3%	4.4%	1.3%
やや不満	31	7	6	8	1	2	3	4	0
	100.0%	22.6%	19.4%	25.8%	3.2%	6.5%	9.7%	12.9%	0.0%
不満	7	3	1	1	0	0	0	1	1
	100.0%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%

### 3\_5. ケアマネジメントが有料化となった場合、 「ケアマネジャー」、「介護保険制度」に望むこと

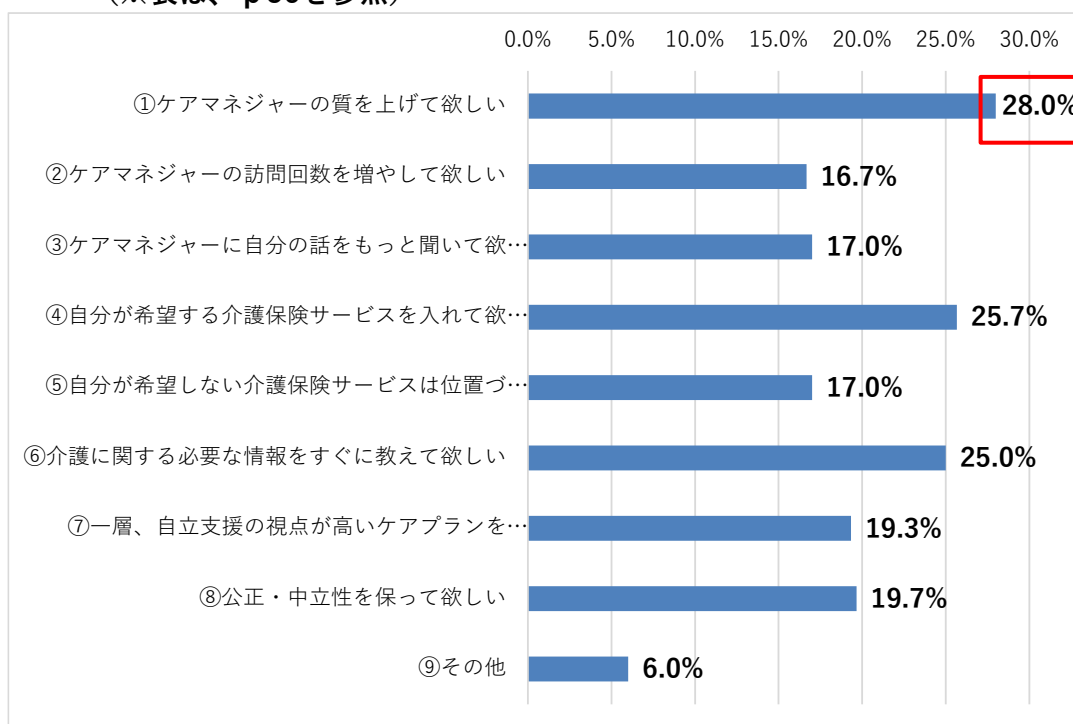
仮に、ケアマネジメントが有料化となった場合、回答者（利用者本人）が、「ケアマネジャー」に望むことは、

・「①ケアマネジャーの質を上げてほしい」が28.0%で最も多かった（図表1-12）。

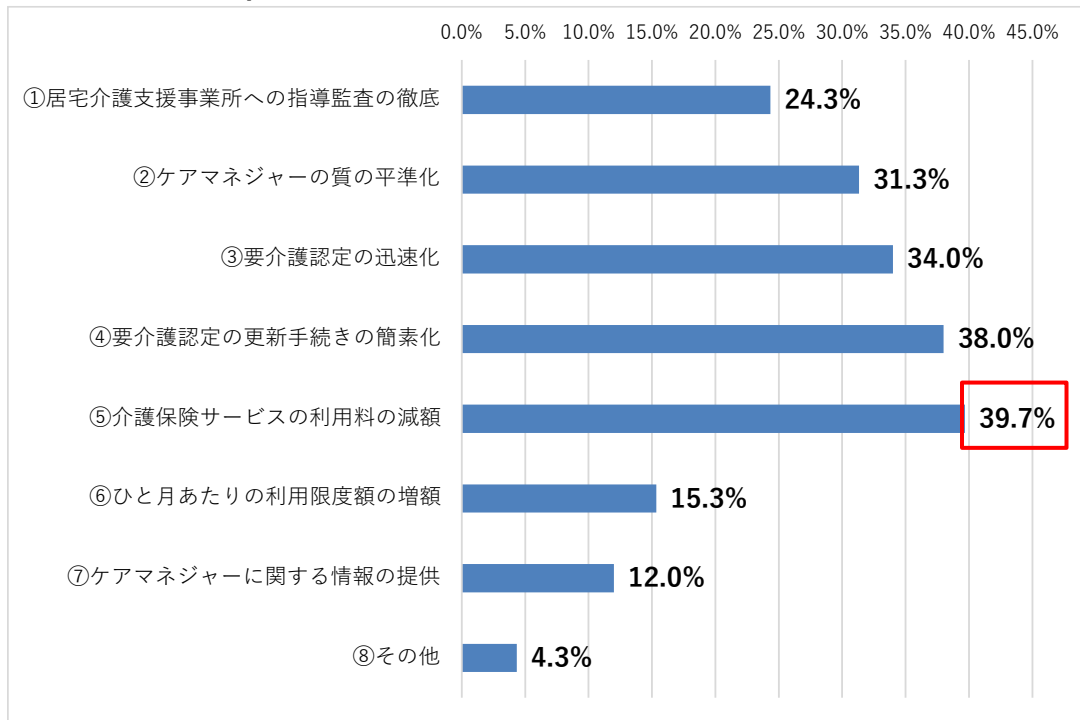
また、「介護保険制度」に望むことは、

・「⑤介護保険サービスの利用料の減額」が39.7%と最も多かった（図表1-13）。[Q8~Q9]

図表1-12：Q8「ケアマネジャーに望むこと」（LA）の分布  
（※表は、p56を参照）



図表1-13：Q9「介護保険制度に望むこと」（LA）の分布  
（※表は、p62を参照）



## (2) 総括

### <目的>

平成30（2018）年12月、「経済財政諮問会議」にて初めて「ケアプラン作成について給付の在り方を検討する」ことが示されて以降、今日まで、介護保険法改正の度に「ケアマネジメントに関する給付の在り方」が議論されている。

そこで、長寿社会開発センターでは、仮に「居宅介護支援（ケアマネジメント）」において利用者負担が導入された場合、負担導入の賛否と適当と考えるひと月あたりの料金、介護保険サービスの利用への影響の有無やケアマネジャーに望むこと等を把握することを目的に調査を行った。

【注】本調査終了後の令和7（2025）年12月25日、社会保障審議会介護保険部会より「介護保険制度の見直しに関する意見」が公表された。

## 1. ケアマネジメントが無料であることの認知度＜3調査の比較＞

ケアマネジメントが無料であることの認知度を調査した結果、「知っている」の回答が55.7%であったが、「知らない」の回答が16.0%みられた。

なお、別の調査『有料化調査（家族等調査）』において本調査とまったく同じ設問を問うているが、

『家族等調査』では、「知っている」の回答が63.3%であった。

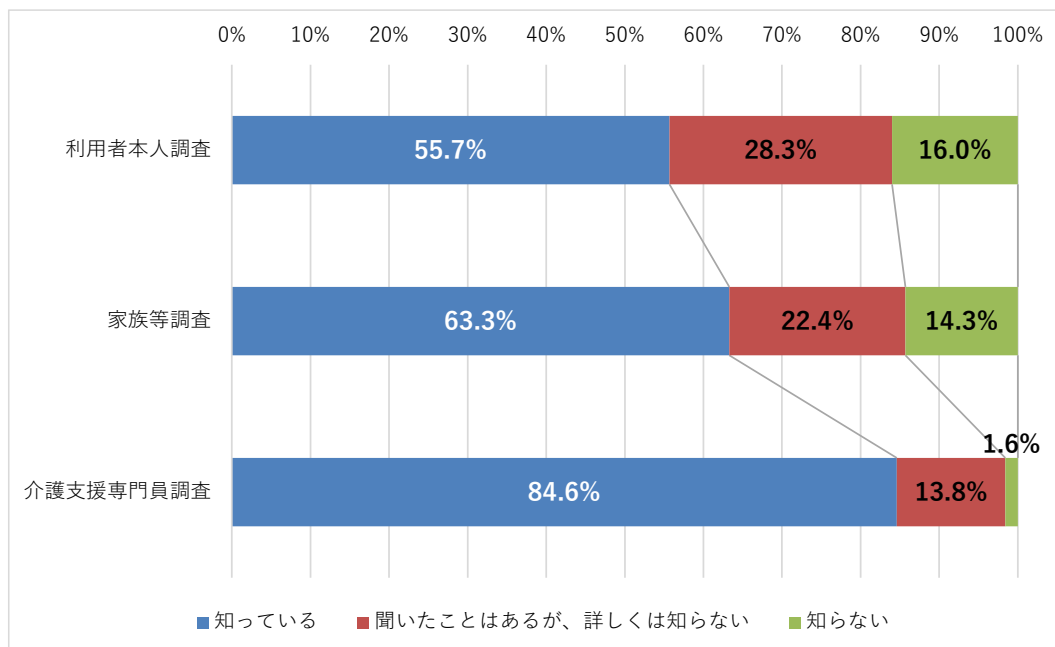
さらに、別の調査『有料化調査（介護支援専門員調査）』では「国の審議会が利用者負担導入を検討されていることを知っているか」に対し、「知っている」が84.6%であった（図表2-1）。

介護支援専門員が国の動向を把握していることは言うまでもないが、利用者本人における認知度が55%（家族等調査では63%）に達していることは着目すべき点である。

介護保険制度が施行され25年経過した現在、ケアマネジャーの業務が広く国民に浸透していると同時に、介護保険制度の給付と負担の状況にも、国民の関心があることを示唆している。

### 【参考】図表2-1：

「居宅介護支援（ケアマネジメント）が無料であることの認知度」（SA）（利用者本人調査、家族等調査）と「居宅介護支援（ケアマネジメント）に対する利用者負担導入議論の認知度」（SA）（介護支援専門員調査）の3調査比較の分布



## 2. ケアマネジャーに対する満足度と有料化の賛否＜2調査の比較＞

担当するケアマネジャーに対する満足度と有料化の賛否をクロス集計でみたところ、

ケアマネジャーに対し「満足」と感じている者では、

- ・「反対」が58.0%
- ・「賛成」が42.0%であった。

また、「不満」と感じている者では、

- ・「反対」が73.7%
- ・「賛成」が26.3%であった。

「満足」、「不満」のどちらにおいても、「反対」の回答が多いことが分かった。

しかしながら、ケアマネジャーに対して「不満」を感じている者であっても、その内の約3割の者が有料化に賛成であることは着目すべき点である。

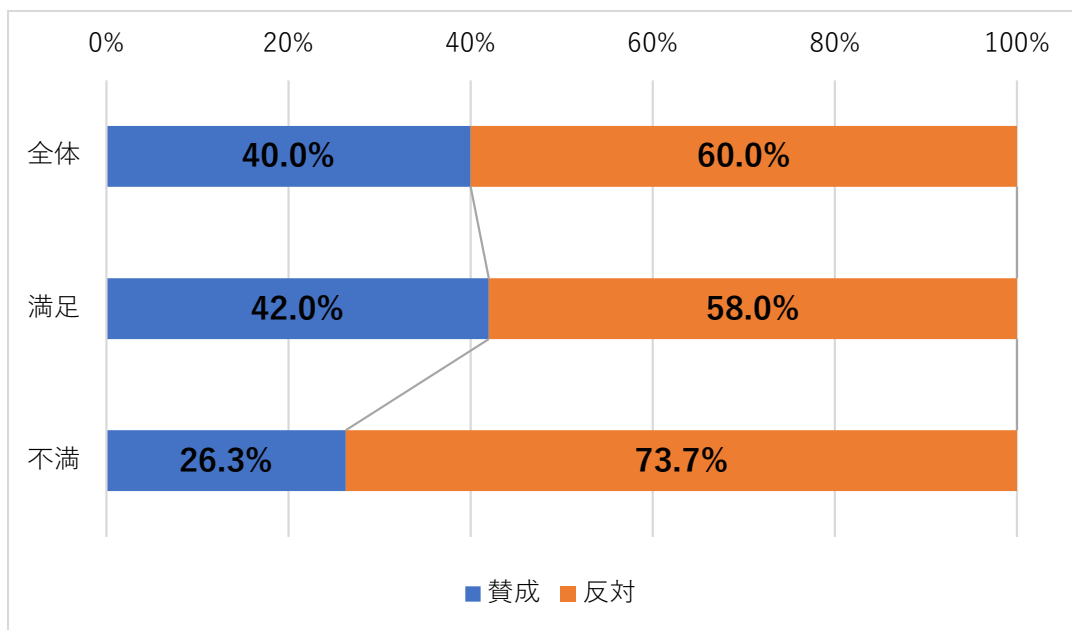
さらに、「賛成」の回答だけに着目してみると、ケアマネジャーに対して「不満」と感じている者よりも「満足」と感じている者の方が、「賛成」の占める割合が多いことが分かった（図表2-2）。

また、別の調査『有料化調査（家族等調査）』においても、ケアマネジャーに対する満足度と有料化の賛否をクロス集計をしたところ、本利用者調査と同様に、「不満」とする者よりも「満足」とする者の方が「賛成」の回答の占める割合が多かった（図表2-3）。

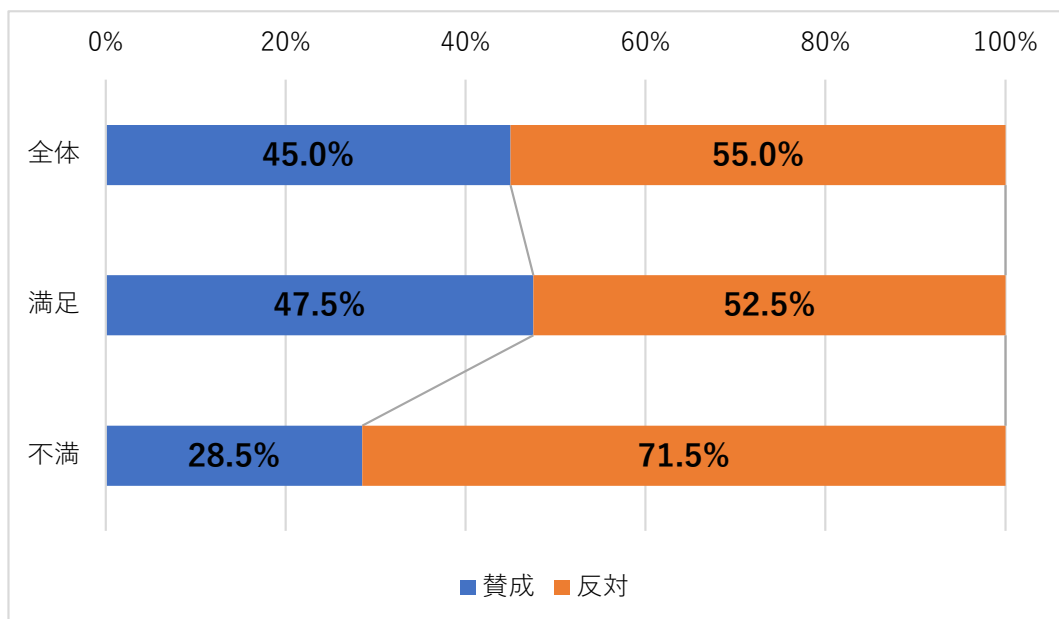
以上の2調査の結果、ケアマネジャーへの満足度が高いほど、有料化への賛成傾向が強いことが示された。

このことは、有料化の議論を進めるためには、前提として、ケアマネジャーが利用者本人や家族等から等しく信頼される専門職として位置づけられていることが不可欠であるといえる。

【参考】図表2-2：「有料化の賛否」（SA）と「ケアマネジャーに対する満足度」（SA）のクロス集計（N=300） <利用者本人調査>



【参考】図表2-3：「有料化の賛否」（SA）と「ケアマネジャーに対する満足度」（SA）のクロス集計（N=1,300） <家族等調査>



### 3. 回答者が考えるひと月あたりのケアマネジメント料金

#### <2調査の比較>

回答者（利用者本人）が考えるひと月あたりのケアマネジメント料金は、平均1014.50円であった（図表2-4）。

国は、【1割負担・要介護2の自己負担額】として月1,400円程度（粗い試算）を示しているが、本調査では、要介護2の平均額は926.49円であった。

また、別の調査『有料化調査（家族等調査）』では、ひと月あたりの金額の平均は1057.96円、要介護2の平均額は、1063.70円であった。

2つの調査結果をみても、国が示す額と開きがみられた。

さらに、回答者（利用者本人）の介護保険サービスの利用料の負担感（大きい、普通、小さい）別にひと月あたりのケアマネジメント料金の平均額をみると、負担感が

「大きい」は1093.70円

「普通」947.08円

「小さい」894.23円

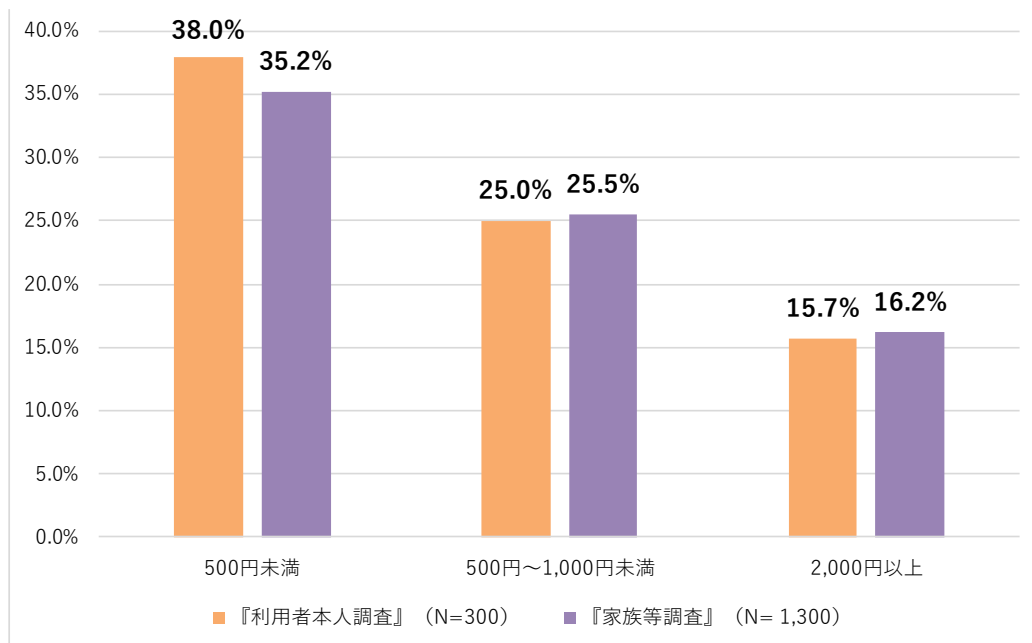
であり、介護保険サービスの利用料の負担感の増加と平均額の値は比例するものではなく、相反する結果であった（図表2-5）。

今般の社会保障審議会介護保険部会での審議では、ケアマネジメントの利用者負担導入の判断に当たって、利用者の所得状況を勘案することについても議論された。

当センターが行った本調査では、回答者（利用者本人）の所得状況に関しては調査項目に盛り込んでおらず、あくまでも、月々の介護保険サービスの利用料の負担感と回答者（利用者本人）が考えるケアマネジメント料金から、それぞれの負担感の平均額を導き出している。

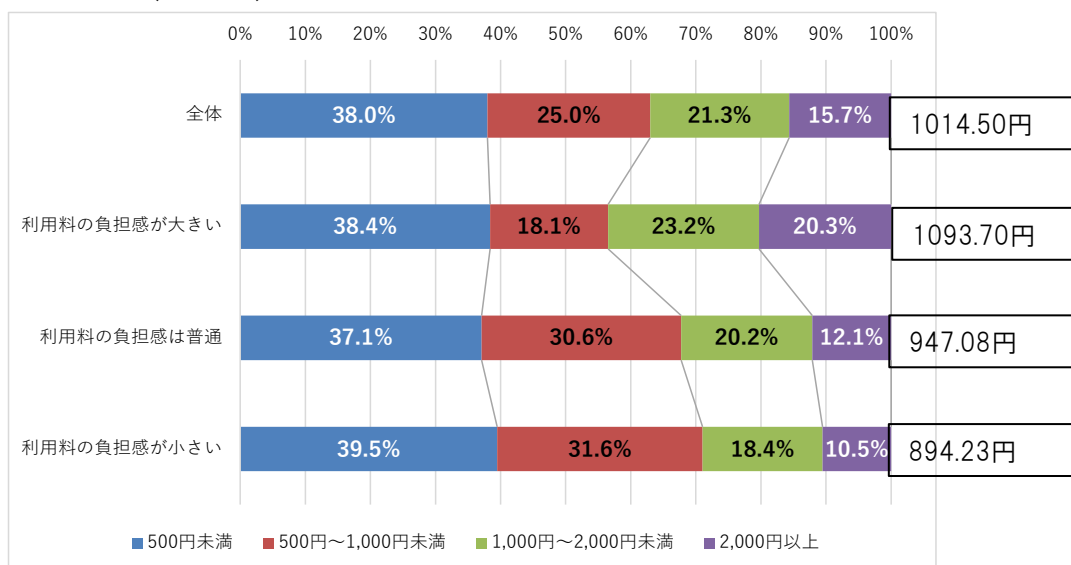
所得状況＝利用料の負担感ではないため解釈に注意を要するが、今後、有料化の議論が俎上に上がった際には、一人ひとりの利用者の介護保険サービスの利用料負担を加味した上で議論されることを期待したい。

【参考】図表2-4：「有料化となった場合、適当と考えるひと月あたりの金額」  
 (SA) (『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較)の分布  
 ※一部抜粋



※平均は、『利用者本人調査』1014.50円、『家族等調査』1057.96円。

図表2-5：Q6「適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金」(SA)と  
 Q2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA)のクロス集計  
 (N=300)



カイ2乗検定： $p > .05$

※□で示した額は平均額。

#### 4. ケアマネジメントが有料化となった場合の介護保険サービス利用の 対応、変化<3調査の比較>

ケアマネジメントが有料化となった場合、介護保険サービスの利用にあたっての回答者（利用者本人）の対応、変化は、

・「①有料化でも今までと変わらず介護保険サービスを受ける」  
が約半数の49.7%を占めていた。

また、別の調査『有料化調査（家族等調査）』では、回答者（主介護者）が被介護者に望む対応を問うたところ、

・「①有料化でも継続して介護保険サービス利用して欲しい」  
の回答が61.5%を占めていた（図表2-6）。

一方で、別の調査『有料化調査（介護支援専門員調査）』では、有料化に伴うデメリットとして、「サービスの利用控えが増える」ことを多くの回答者（53.9%）が危惧している。

さらに、国の審議会においても、利用者負担を導入することで、

- ・「サービスの利用控えが生じ得る」
- ・「セルフケアプランの増加」

を指摘している。

しかしながら、本調査並びに別の調査『有料化調査（家族等調査）』の結果から、セルフケアプランに移行する回答は低いことが分かった（利用者本人調査：6.3%,家族等調査：5.2%）。

以上のことから、国の審議会や別の調査回答者（介護支援専門員）が危惧するほどに「サービス利用控えが増える」ことはなく、また、「セルフケアプラン」が増大する見込みも大きいとはいえないことが明らかとなった。

ただし、当センターが行った各種調査（利用者本人調査、家族等調査、介護支援専門員調査）は、有料化の具体的な金額（案）を示して調査を行っていないことに、留意が必要である。

【参考】図表2-6：「有料化となった場合、あなたはどのような対応を取るか  
 （被介護者に望む対応）」（SA）（『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布 ※一部抜粋

	『利用者本人調査』 (N=300)		『家族等調査』 (N= 1,300)	
	N	%	N	%
①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける（介護保険サービスを利用して欲しい）	149	49.7%	800	61.5%
③利用する介護保険サービスを減らす（介護保険サービスを減らして欲しい）	52	17.3%	74	5.7%

※『介護支援専門員調査』では、有料化のデメリットとして『サービスの利用控えが増える』の回答が多かった（53.9%）。

## 5. ケアマネジメントが有料化となった場合、「ケアマネジャー」、 「介護保険制度」に望むこと<2調査の比較>

ケアマネジメントが有料化となった場合、回答者が「ケアマネジャー」に望むことについて、調査を行った。

本調査『利用者本人調査』と別の調査『有料化調査（家族等調査）』において、回答の順位は違うものの以下の3つが上位を占めていた（図表2-7）。

### ○【ケアマネジャーに望むこと】

- ・「ケアマネジャーの質を上げて欲しい」
- ・「（利用者本人、主介護者が）希望する介護保険サービスを入れて欲しい」
- ・「介護に関する必要な情報をすぐに教えて欲しい」

また、有料化となった場合、回答者が「介護保険制度」に望むことについても『利用者本人調査』と別の調査『有料化調査（家族等調査）』において調査を行ったが、こちらでも、以下のとおり、回答の上位4つが共通していた（図表2-8）。

### ○【介護保険制度に望むこと】

- ・「介護保険サービスの利用料の減額」
- ・「要介護認定の更新手続きの簡素化」
- ・「要介護認定の迅速化」
- ・「ケアマネジャーの質の平準化」

「ケアマネジャーの質」に関しては、「ケアマネジャーに望むこと」、「介護保険制度に望むこと」のどちらにもおいて、回答の上位に挙げられていることは注目すべき点である。

現行の10割給付であっても国の施策等において、ケアマネジャーの質の向上等がいられている。

今後、有料化となった際は、今以上にケアマネジャーの質が問われることが予想される。

「介護保険制度の見直しに関する意見」（令和7（2025）年12月25日）において、ケアマネジャーの更新制・法定研修の見直しが示された。

研修制度が見直される場合であっても、ケアマネジャーの質の向上が求められている点に変わりはない。

したがって、研修を通じた資質の確保・向上の重要性を踏まえ、引き続き自己研鑽に努めることがケアマネジャーには求められる。

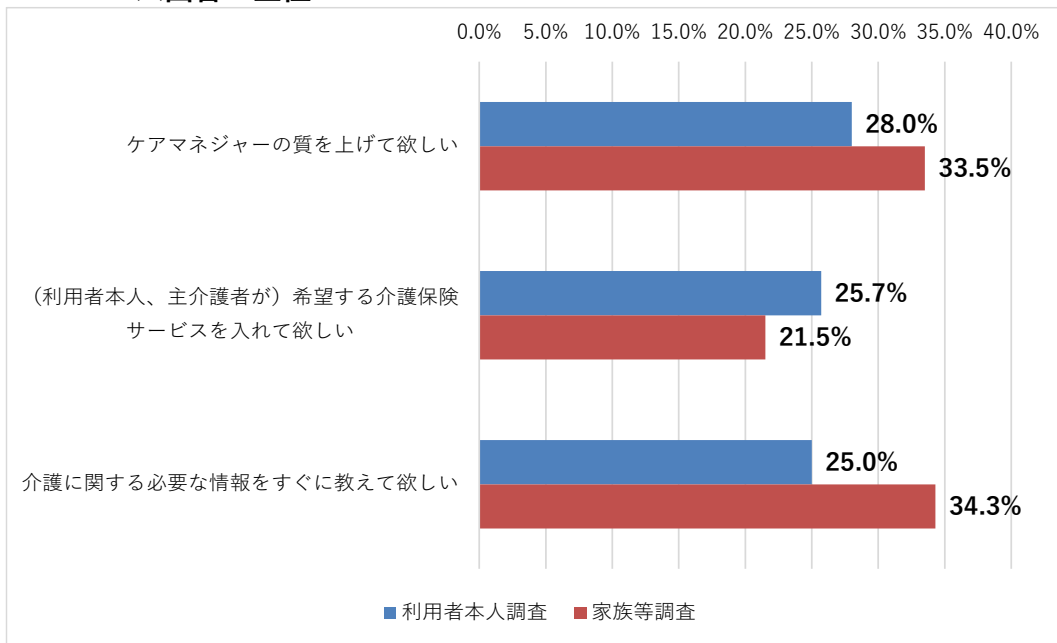
また、事業者においては、ケアマネジャーが必要な研修を適切に受講で

きるよう、環境整備及び配慮を行うことが重要である。

さらに、利用者本人や家族等が求める「必要な介護に関する情報」をタイムリーに提供し、相談できる体制を継続的に構築していくことが求められる。

【参考】図表2-7：「有料化となった場合、ケアマネジャーに望むこと」（LA）  
（『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布

※回答の上位3つ



【参考】図表2-8：「有料化となった場合、介護保険制度に望むこと」（LA）  
（『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布

	『利用者本人調査』 (N=300)		『家族等調査』 (N=1,300)	
	N	%	N	%
①居宅介護支援事業所への指導監査の徹底	73	24.3%	314	24.2%
②ケアマネジャーの質の平準化	94	31.3%	452	34.8%
③要介護認定の迅速化	102	34.0%	487	37.5%
④要介護認定の更新手続きの簡素化	114	38.0%	505	38.8%
⑤介護保険サービスの利用料の減額	119	39.7%	508	39.1%
⑥ひと月あたりの利用限度額の増額	46	15.3%	395	30.4%
⑦ケアマネジャーに関する情報の提供	36	12.0%	162	12.5%
⑧その他	13	4.3%	24	1.8%
合計	300	100.0%	1300	100.0%

## 6. 考察

本調査から、「居宅介護支援（ケアマネジメント）に対する利用者負担導入」について、現に、居宅介護支援を利用している本人の4割が「賛成」であることが明らかとなった。

また、毎月の介護保険サービス利用料に対する負担感が「大きい」者ほど、利用者負担導入に対して「反対」の意向が強いと予測されたが、結果は、負担感が「大きい」者の方が「反対」の割合は低く、3つの負担感区分のなかで最も「賛成」が多いという結果が得られた点は注目に値する。

さらに、負担感が「大きい」場合であっても、「今までと変わらず介護保険サービスを受ける」と回答した者が半数を超えていた。

このことから、介護保険サービス利用料に対する費用負担感の大小にかかわらず、介護サービスの必要性は高く、利用継続が優先される傾向がうかがえる。

加えて、ケアマネジャーに対する満足度が「高い」者ほど、利用者負担導入に「賛成」する割合が高い点も軽視できない。

現に、ケアマネジャーに「満足」と回答した者の約7割（67.0%）が、有料化後も「今までと変わらず介護保険サービスを受ける」と回答しており、ケアマネジメントの質や信頼が、利用者の制度受容性や継続利用意向に強く影響していることが示唆される。

### **(3) 調査結果**

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

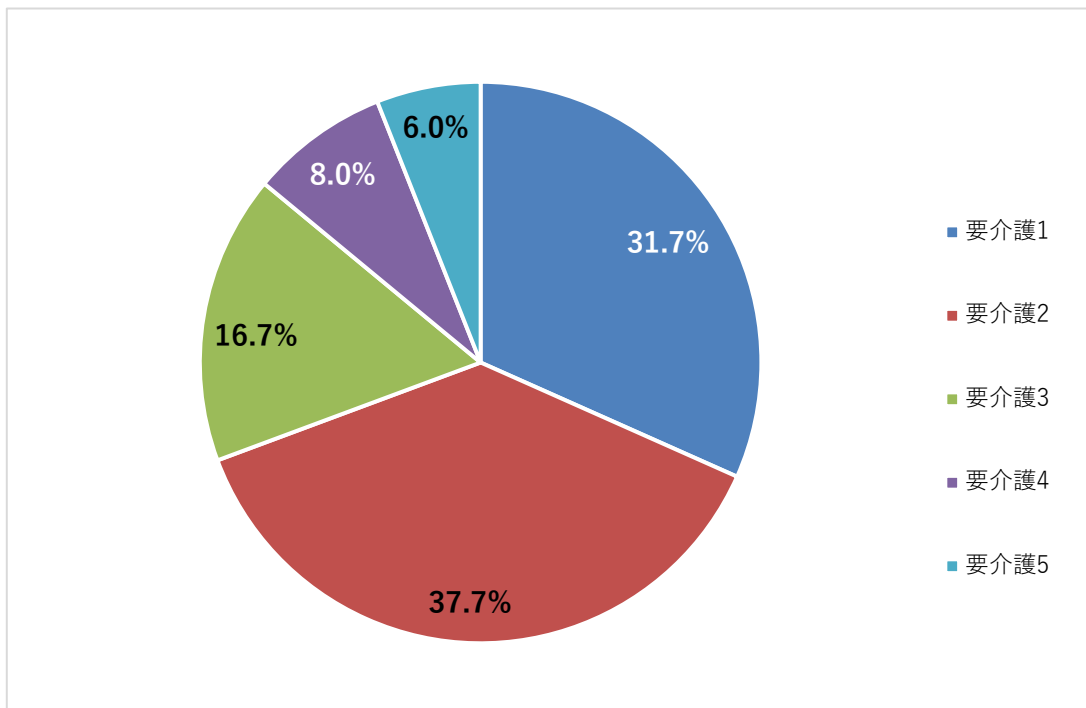
**Q1. あなたの現在の要介護認定区分をお答えください。[S A] (N=300)**

- ・回答者（利用者本人）の現在の要介護認定区分は、「要介護2」が最も多く37.7%、次いで、「要介護1」が31.7%であった。
- ・「要介護1」と「要介護2」で約7割（69.4%）を占めている。

**図表3-1：Q1「現在の要介護認定区分」（SA）の分布**

	N	%
要介護1	95	31.7%
要介護2	113	37.7%
要介護3	50	16.7%
要介護4	24	8.0%
要介護5	18	6.0%
全体	300	100.0%

69.4%



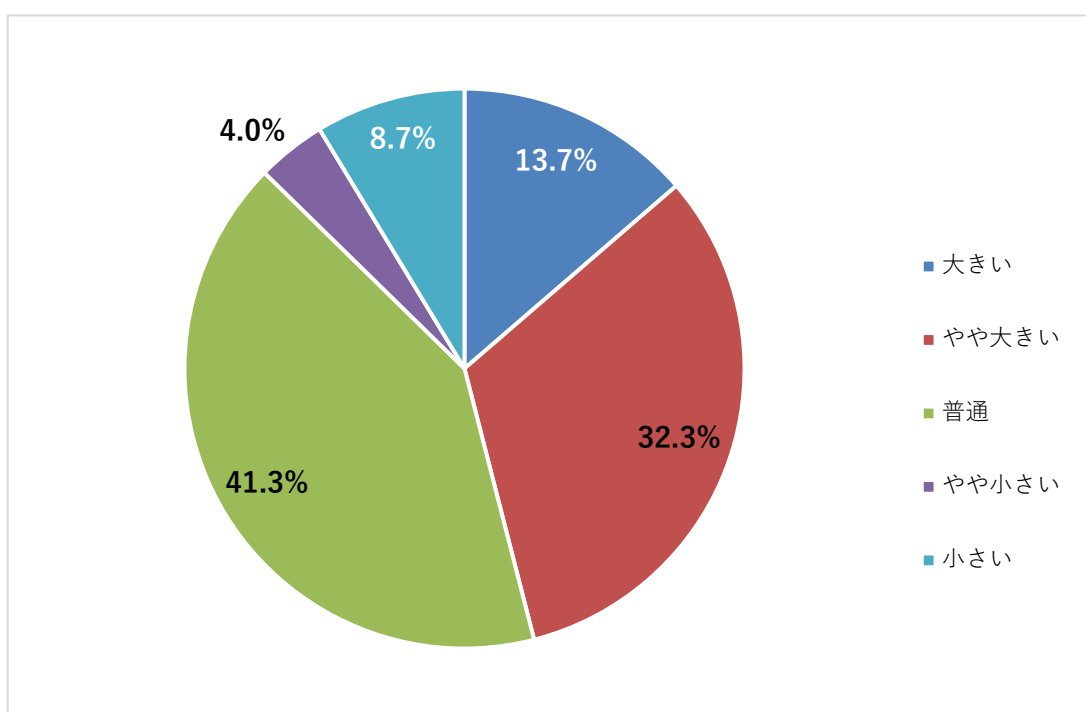
Q2. 現在、あなたが利用している介護保険サービスの利用料の負担感をお答えください。

[S A] (N=300)

- ・現在、利用している介護保険サービスの利用料に対する回答者（利用者本人）の負担感  
は、「普通」が最も多く41.3%であった。  
次いで、「やや大きい」が32.3%を占めている。
- ・負担感が「大きい」と「小さい」の類型別にみると、「大きい」に類する回答が半数  
近くの46.0%を占めている。

図表3-2：Q2「介護保険サービス利用料の負担感」（SA）の分布

	N	%	
大きい	41	13.7%	} 46.0%
やや大きい	97	32.3%	
普通	124	41.3%	
やや小さい	12	4.0%	} 12.7%
小さい	26	8.7%	
全体	300	100.0%	



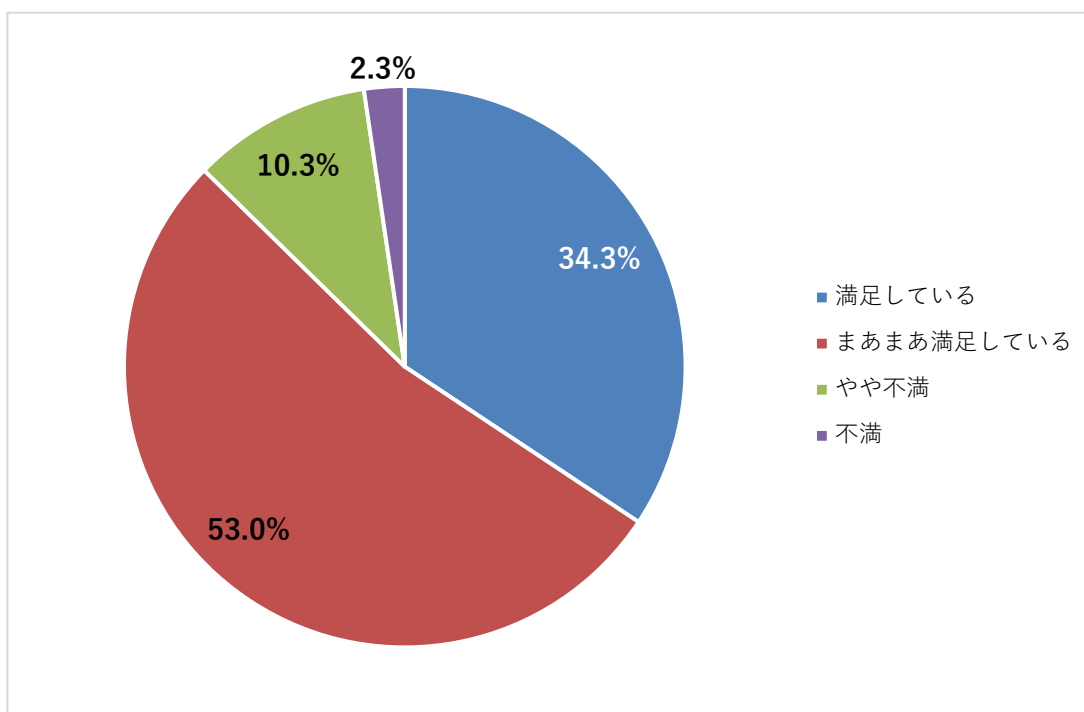
**Q3. あなたを担当しているケアマネジャーに対する満足度をお答えください。[SA]**  
**(N=300)**

- ・ケアマネジャーに対する回答者（利用者本人）の満足度は、「まあまあ満足している」が半数以上を占め53.0%であった。
- ・「満足」と「不満」の類型別にみると、「満足」の回答が87.3%を占めている。
- ・なお、当調査『有料化調査（居宅介護支援利用者本人調査）』（以下、『利用者本人調査』）という）と同じ設問を、別調査『有料化調査（居宅介護支援利用者を介護する家族等調査）』（以下、『家族等調査』）という）においても問うているが、『家族等調査』における「満足」の計は、86.8%であった。

**図表3-3：Q3「担当ケアマネジャーに対する満足度」（SA）の分布**

	N	%
満足している	103	34.3%
まあまあ満足している	159	53.0%
やや不満	31	10.3%
不満	7	2.3%
全体	300	100.0%

87.3%

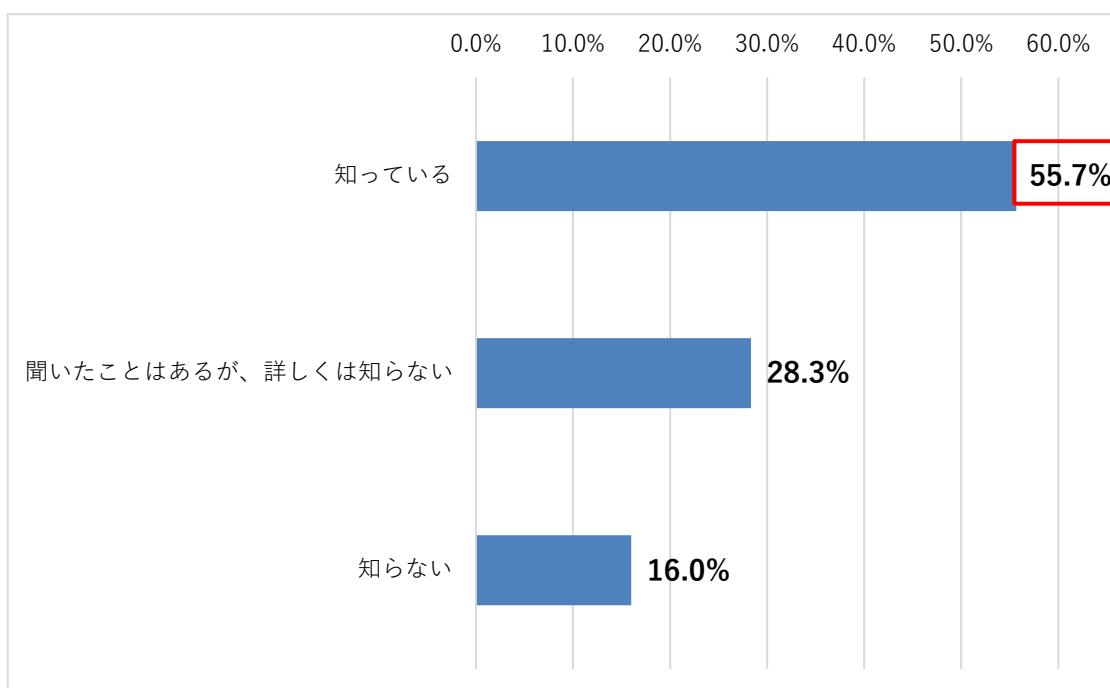


**Q4. ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントが無料（あなたの自己負担は生じない）であることを知っていますか。[ S A ] (N=300)**

- ・ケアマネジメントが無料であることを「知っている」の回答が、55.7%であった。  
なお、「知らない」という回答が約1割の16.0%みられた。
- ・当調査『有料化調査（利用者本人調査）』の本設問と同じ設問を、別調査『有料化調査（家族等調査）』に、  
また、類似の設問（「居宅介護支援（ケアマネジメント）に対する利用者負担導入議論の認知度」）を、別調査『有料化調査（介護支援専門員調査）』（以下、『介護支援専門員調査』という）  
においても問うているが、  
「知っている」の回答は、『家族等調査』で63.3%、『介護支援専門員調査』で84.6%であった。  
（【参考】図表3-5：「居宅介護支援（ケアマネジメント）が無料であることの認知度」（SA）（利用者本人調査、家族等調査）と「居宅介護支援（ケアマネジメント）に対する利用者負担導入議論の認知度」（SA）（介護支援専門員調査）の3調査比較の分布を参照）

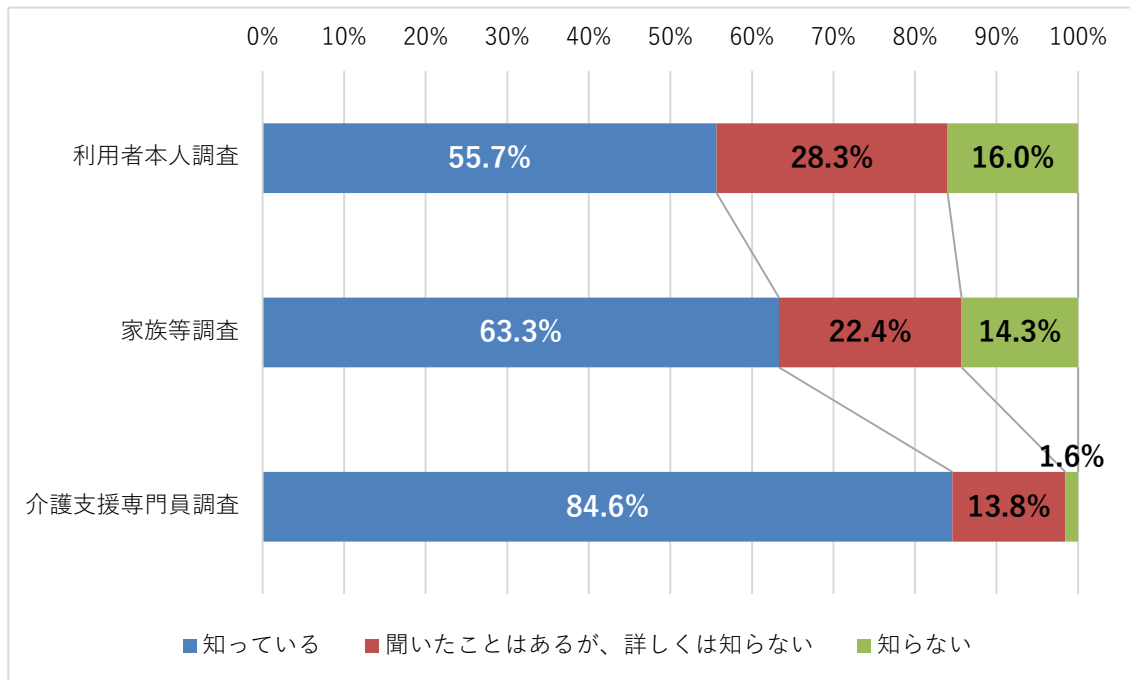
**図表3-4：Q4「ケアマネジメントが無料であることの認知度」（SA）の分布**

	N	%
知っている	167	55.7%
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	85	28.3%
知らない	48	16.0%
全体	300	100.0%



【参考】図表3-5：

「居宅介護支援（ケアマネジメント）が無料であることの認知度」（SA）（利用者本人調査、家族等調査）と「居宅介護支援（ケアマネジメント）に対する利用者負担導入議論の認知度」（SA）（介護支援専門員調査）の3調査比較の分布



【クロス集計】

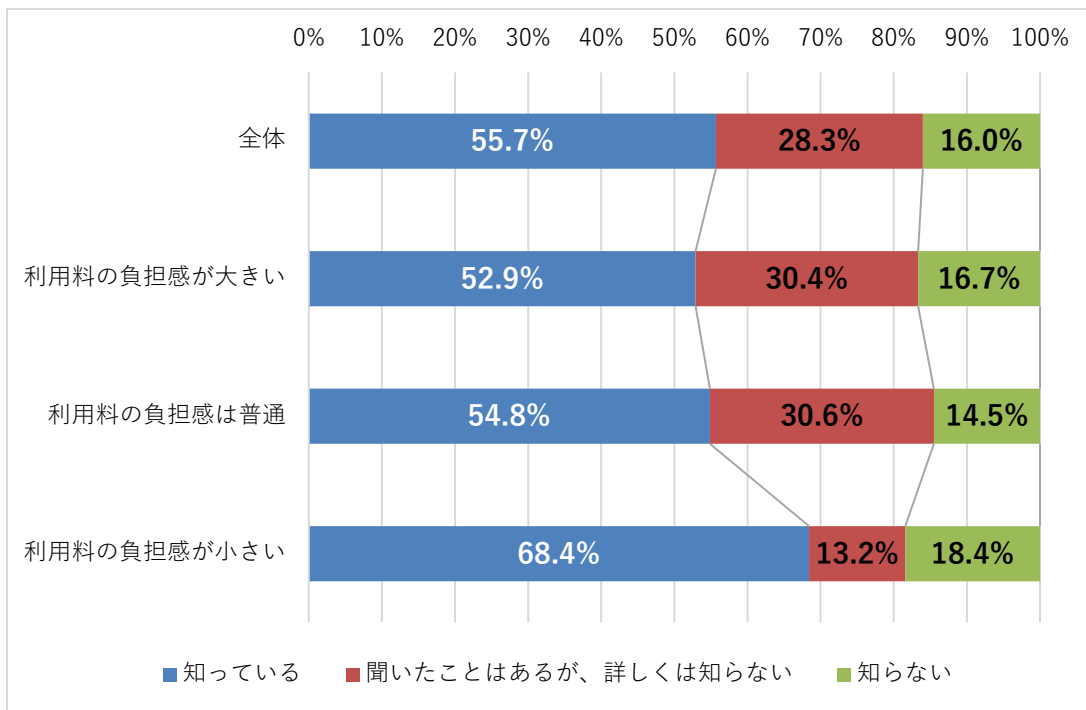
(Q4「ケアマネジメントが無料であることの認知度」(SA) ×  
Q2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA)) (N=300)

- ・介護保険サービスの利用料に対する回答者（利用者本人）の負担感別に、「ケアマネジメントが無料であることの認知度」をみると、すべての負担感において「知っている」の回答が最も多く52%を超えている。
- ・利用料の負担感が「小さい」においては、ケアマネジメントが無料であることを「知っている」（68.4%）、「知らない」（18.4%）の回答の割合が他の負担感に比べ多い。

図表3-6：Q4「ケアマネジメントが無料であることの認知度」(SA)と  
Q2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA)のクロス集計 (N=300)

	全体	知っている	聞いたことはあるが、詳しくは知らない	知らない
	300	167	85	48
全体	100.0%	55.7%	28.3%	16.0%
利用料の負担感が大きい	138	73	42	23
	100.0%	52.9%	30.4%	16.7%
利用料の負担感は普通	124	68	38	18
	100.0%	54.8%	30.6%	14.5%
利用料の負担感が小さい	38	26	5	7
	100.0%	68.4%	13.2%	18.4%

カイ2乗検定： $p > .05$

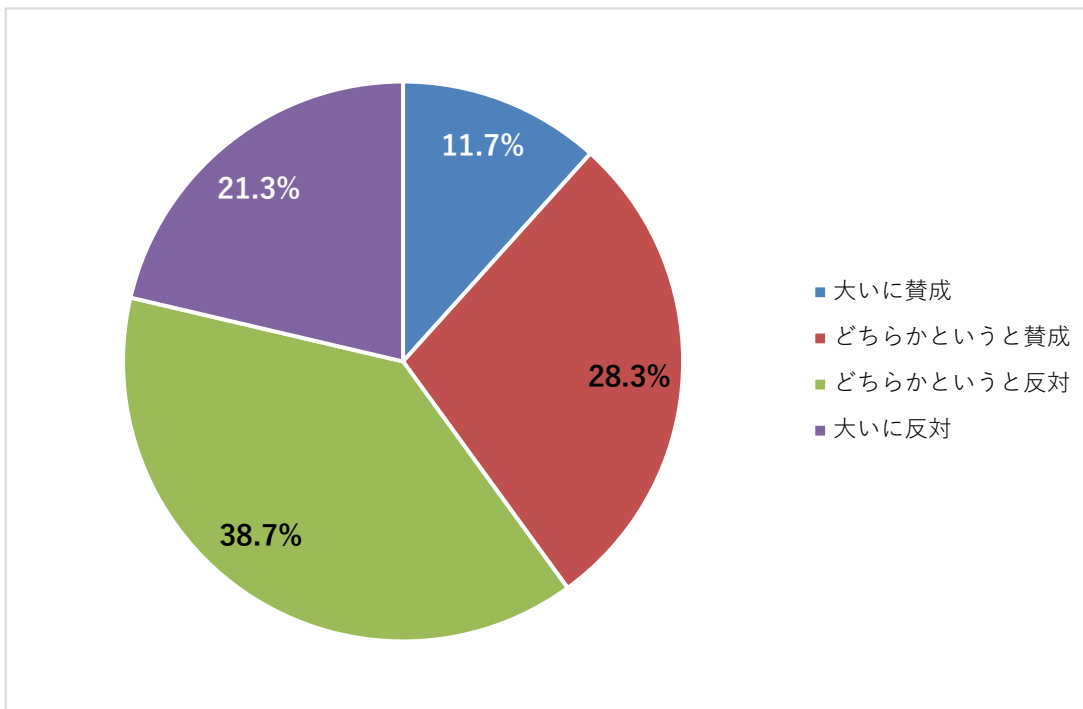


**Q5. ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントを有料化（あなたの自己負担が生じる）とした場合、あなたのご意見をお答えください。[SA]（N=300）**

- ・仮に、ケアマネジメントを有料化（回答者の自己負担が生じる）とした場合の回答者（利用者本人）の意見、評価は、「どちらかというと反対」が最も多く38.7%であった。
- ・「賛成」と「反対」の類型別にみても、「賛成」が40.0%、「反対」が60.0%であった。
- ・なお、同じ設問を別の調査『有料化調査（家族等調査）』並びに『有料化調査（介護支援専門員調査）』においても問うているが、「賛成」の計は、『家族等調査』で45.0%、『介護支援専門員調査』で11.6%であった。（【参考】図表3-8：「利用者負担導入への意見、評価」（SA）の3調査比較の分布を参照）

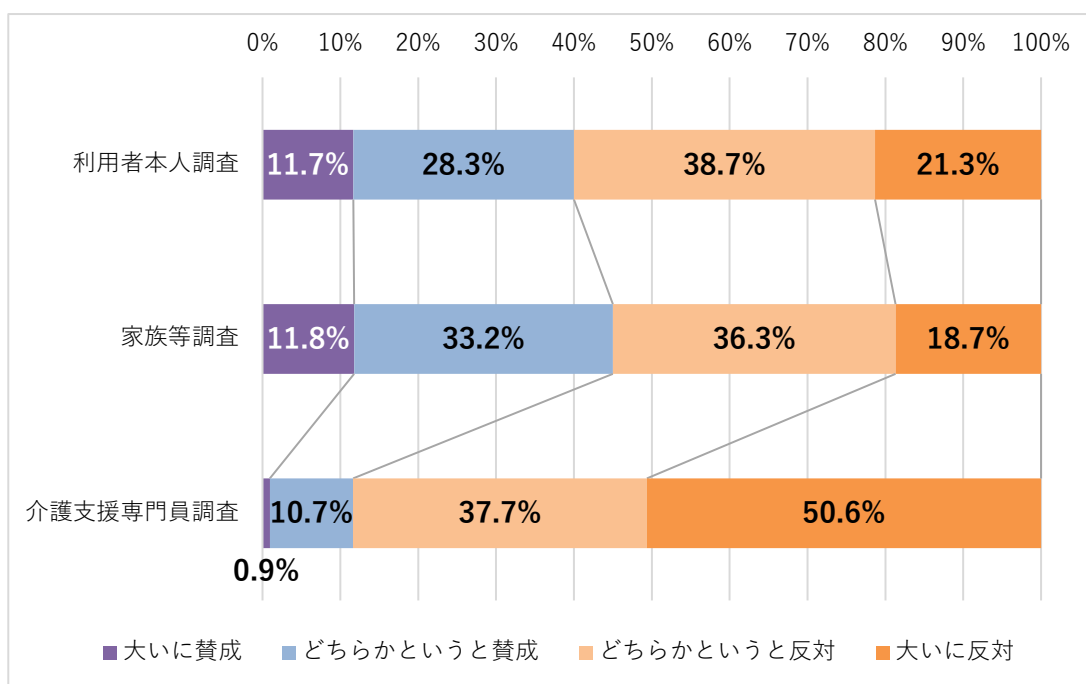
**図表3-7：Q5「ケアマネジメントを有料化とした場合の賛否」（SA）の分布**

	N	%
大いに賛成	35	11.7%
どちらかという賛成	85	28.3%
どちらかという反対	116	38.7%
大いに反対	64	21.3%
全体	300	100.0%



【参考】図表3-8：「利用者負担導入への意見、評価」(SA)の3調査比較の分布

	計	大いに賛成	どちらかという と賛成	どちらかという と反対	大いに反対
	300	35	85	116	64
利用者本人調査	100.0%	11.7%	28.3%	38.7%	21.3%
	1300	153	432	472	243
家族等調査	100.0%	11.8%	33.2%	36.3%	18.7%
	954	9	102	360	483
介護支援専門員調査	100.0%	0.9%	10.7%	37.7%	50.6%



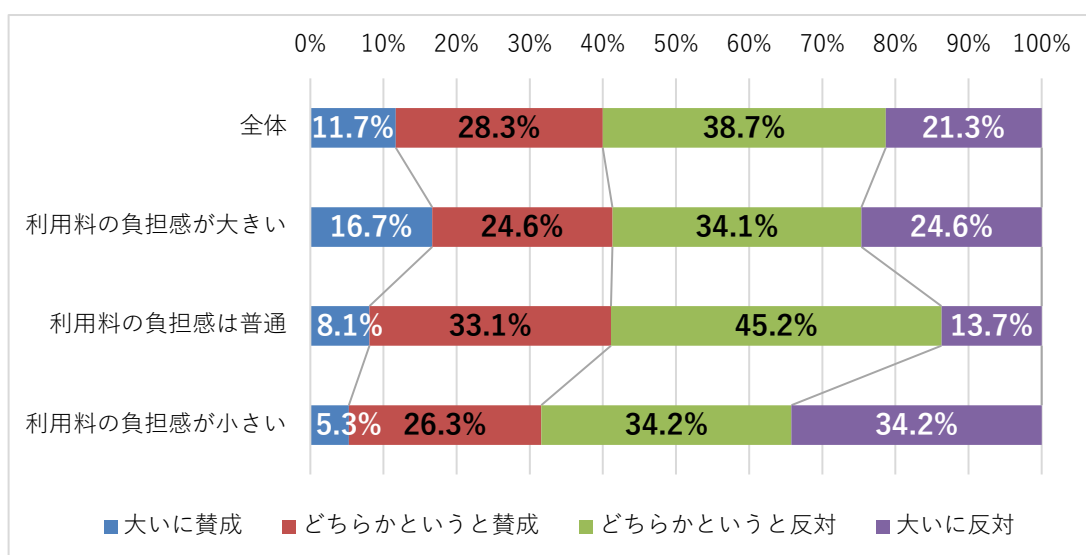
## 【クロス集計】

(Q5「ケアマネジメント有料化の賛否」(SA) ×  
Q2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA) (N=300)

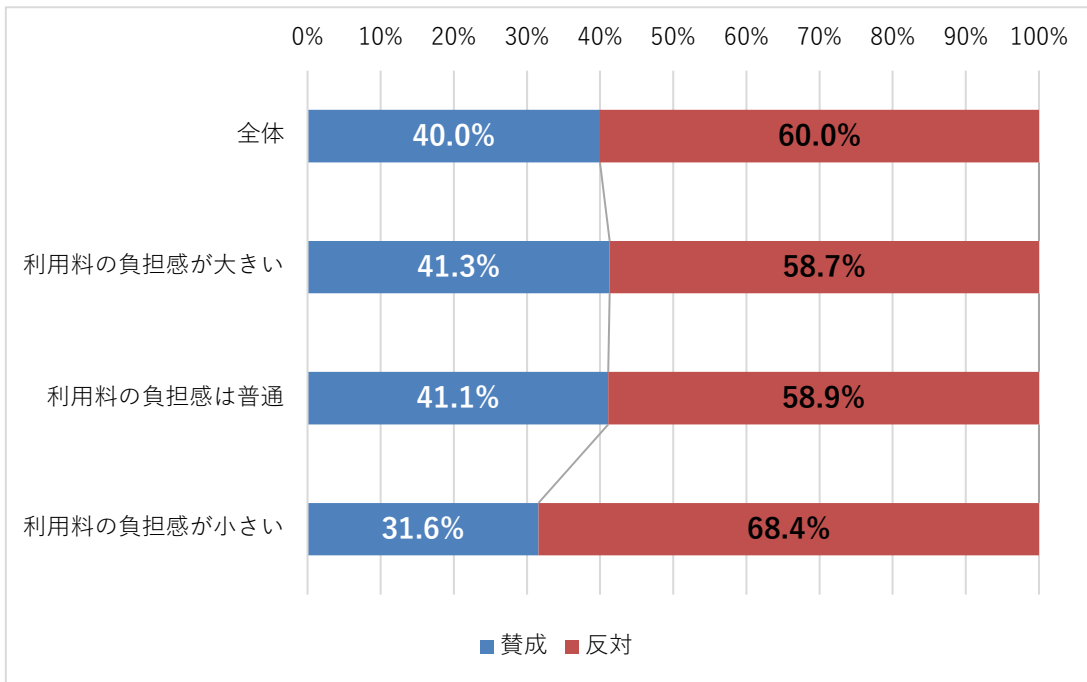
- ・介護保険サービスの利用料に対する回答者（利用者本人）の負担感別に、「ケアマネジメントの有料化の賛否」をみると、すべての負担感において「どちらかという反対」の回答が最も多く、34%を超えている。
- ・有料化に「大いに賛成」の回答に着目してみると、利用料の負担感が「小さい」の回答が最も少なく5.3%、負担感が「大きい」の回答が最も多く16.7%であった。  
利用料の負担感が「大きい」ものほど、有料化に対して「大いに賛成」の回答割合が大きい。

図表3-9：Q5「ケアマネジメント有料化の賛否」(SA)とQ2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA)のクロス集計(N=300)

	全体	大いに賛成	どちらかという賛成	どちらかという反対	大いに反対
	300	35	85	116	64
全体	100.0%	11.7%	28.3%	38.7%	21.3%
	138	23	34	47	34
利用料の負担感が大きい	100.0%	16.7%	24.6%	34.1%	24.6%
	124	10	41	56	17
利用料の負担感は普通	100.0%	8.1%	33.1%	45.2%	13.7%
	38	2	10	13	13
利用料の負担感が小さい	100.0%	5.3%	26.3%	34.2%	34.2%



【参考】図表3-10：Q5「ケアマネジメントの有料化の賛否」(SA) (2類型) と  
Q2「介護保険サービス利用料の負担感」(SA) のクロス集計 (N=300)



カイ2乗検定： $p > .05$

## 【クロス集計】

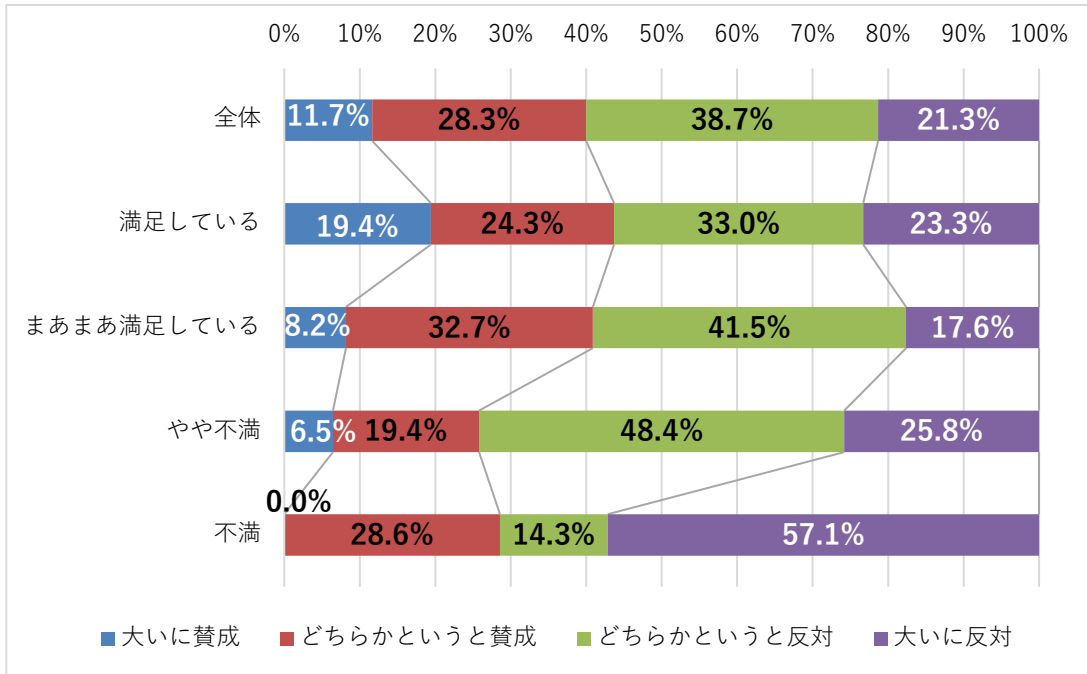
(Q5「ケアマネジメント有料化の賛否」(SA) ×  
Q3「ケアマネジャーに対する満足度」(SA)) (N=300)

- ・ケアマネジャーに対する満足度別に、「ケアマネジメントの有料化の賛否」をみてみると、  
「不満」と回答したものを除いて、有料化は「どちらかという反対」の回答が多く33%を超えている。
- ・ケアマネジャーに対し「不満」と回答したものは、  
有料化は「大いに反対」の回答が最も多く57.1%に達している一方で、「どちらかという賛成」の回答が28.6%みられた。
- ・「賛成」、「反対」の2類型でみると、  
ケアマネジャーに対し「不満」と回答したものよりも、「やや不満」と回答したもののほうが、有料化は「反対」とする回答の割合が大きい(不満：71.4%、やや不満：74.2%)。

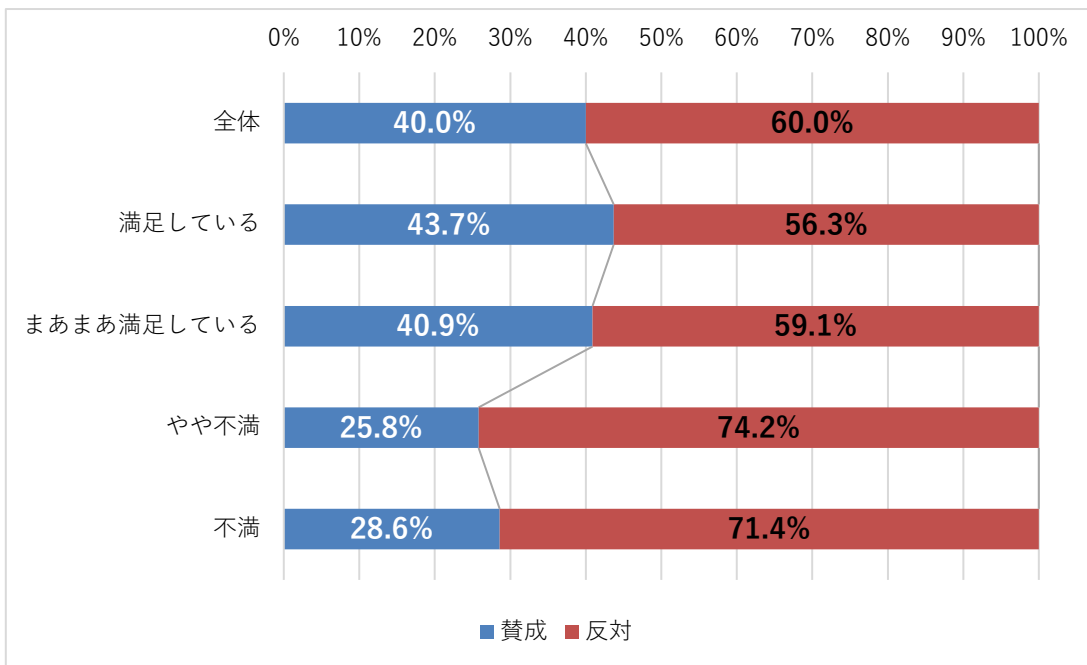
※「やや不満」「不満」のN数が少ないことに留意が必要。

図表3-11：Q5「ケアマネジメント有料化の賛否」(SA)と  
Q3「ケアマネジャーに対する満足度」(SA)のクロス集計(N=300)

	全体	大いに 賛成	どちら かとい うと賛 成	どちら かとい うと反 対	大いに 反対
	300	35	85	116	64
全体	100.0%	11.7%	28.3%	38.7%	21.3%
	103	20	25	34	24
満足している	100.0%	19.4%	24.3%	33.0%	23.3%
	159	13	52	66	28
まあまあ満足している	100.0%	8.2%	32.7%	41.5%	17.6%
	31	2	6	15	8
やや不満	100.0%	6.5%	19.4%	48.4%	25.8%
	7	0	2	1	4
不満	100.0%	0.0%	28.6%	14.3%	57.1%



【参考】図表3-12：Q5「ケアマネジメントの有料化の賛否」（SA）（2類型）と Q3「ケアマネジャーに対する満足度」（SA）のクロス集計（N=300）



カイ2乗検定： $p > .05$

Q6. 仮に、ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントが有料化となった場合、ひと月あたり、いくらくらいが適当な金額だと思いますか。

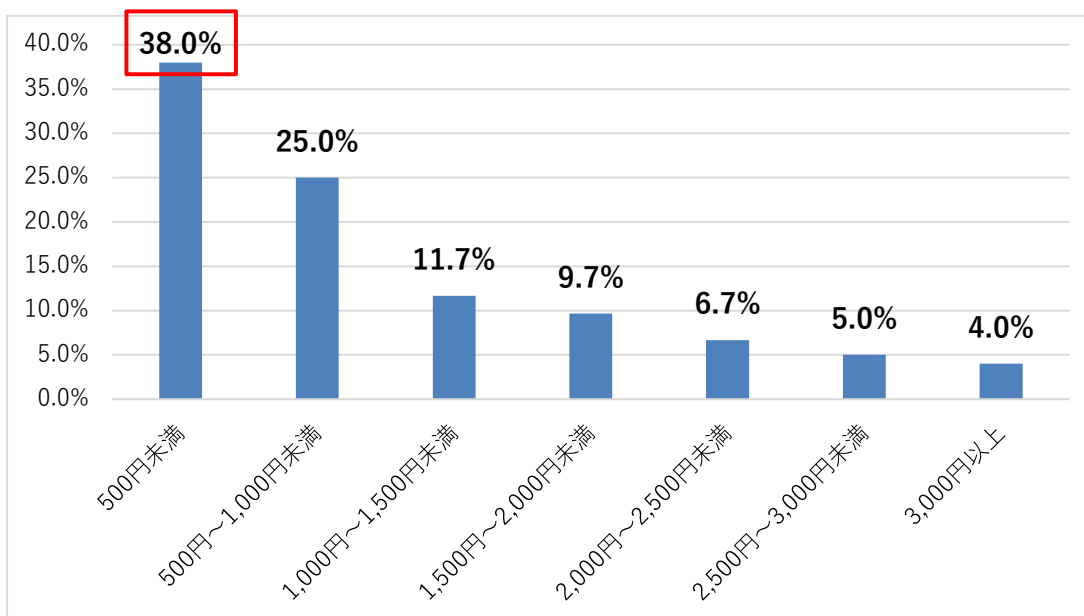
[S A] (N=300)

- ・仮に、ケアマネジメントが有料化となった場合、回答者（利用者本人）が考えるひと月あたりの金額は、「500円未満」が最も多く38.0%であった。
  - ・「1,000円未満」の回答が63.0%であった一方で、「2,000円以上」の回答が15.7%みられた。
  - ・平均1014.50円。
  - ・なお、当調査『有料化調査（利用者本人調査）』と同じ設問を、別調査『有料化調査（家族等調査）』においても問うているが、『家族等調査』においても「500円未満」が最も多く35.2%であった。
- また、「1,000円未満」の回答は60.7%、「2,000円以上」の回答は16.2%で、ひと月あたりの平均額は、1057.96円であった。

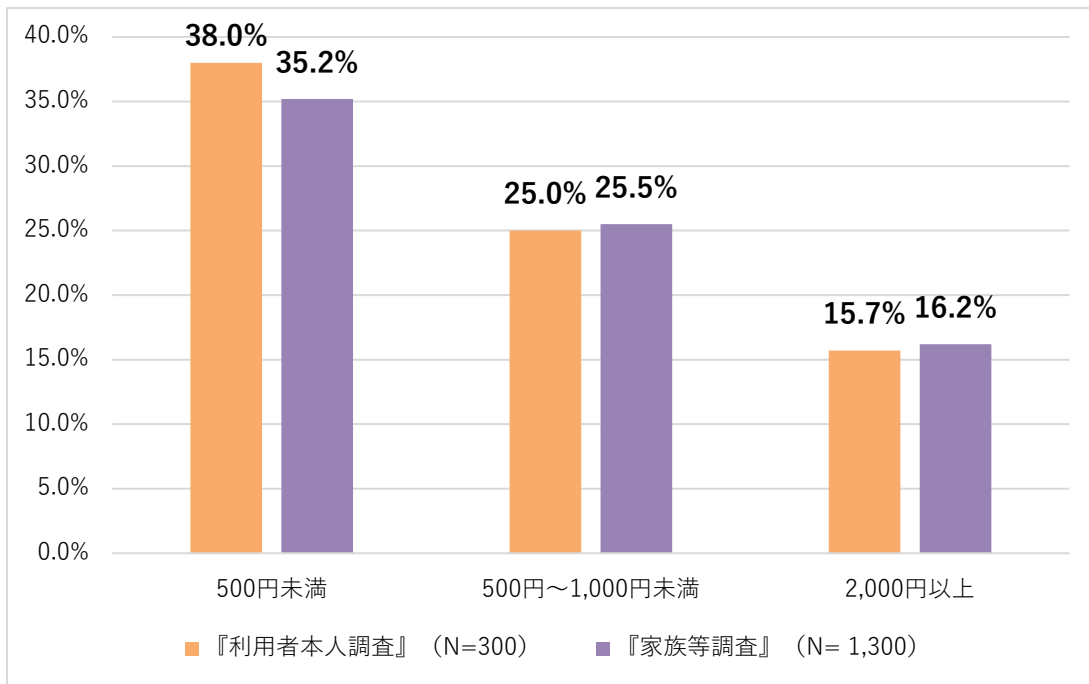
（【参考】図表3-14：「有料化となった場合、適当と考えるひと月あたりの金額」（SA）（『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布を参照）

図表3-13：Q6「適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金」（SA）の分布

	N	%
500円未満	114	38.0%
500円～1,000円未満	75	25.0%
1,000円～1,500円未満	35	11.7%
1,500円～2,000円未満	29	9.7%
2,000円～2,500円未満	20	6.7%
2,500円～3,000円未満	15	5.0%
3,000円以上	12	4.0%
全体	300	100.0%



【参考】図表3-14：「有料化となった場合、適当と考えるひと月あたりの金額」（SA）  
 （『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布 ※一部抜粋



※平均は、『利用者本人調査』 1014.50円、『家族等調査』 1057.96円。

【クロス集計】

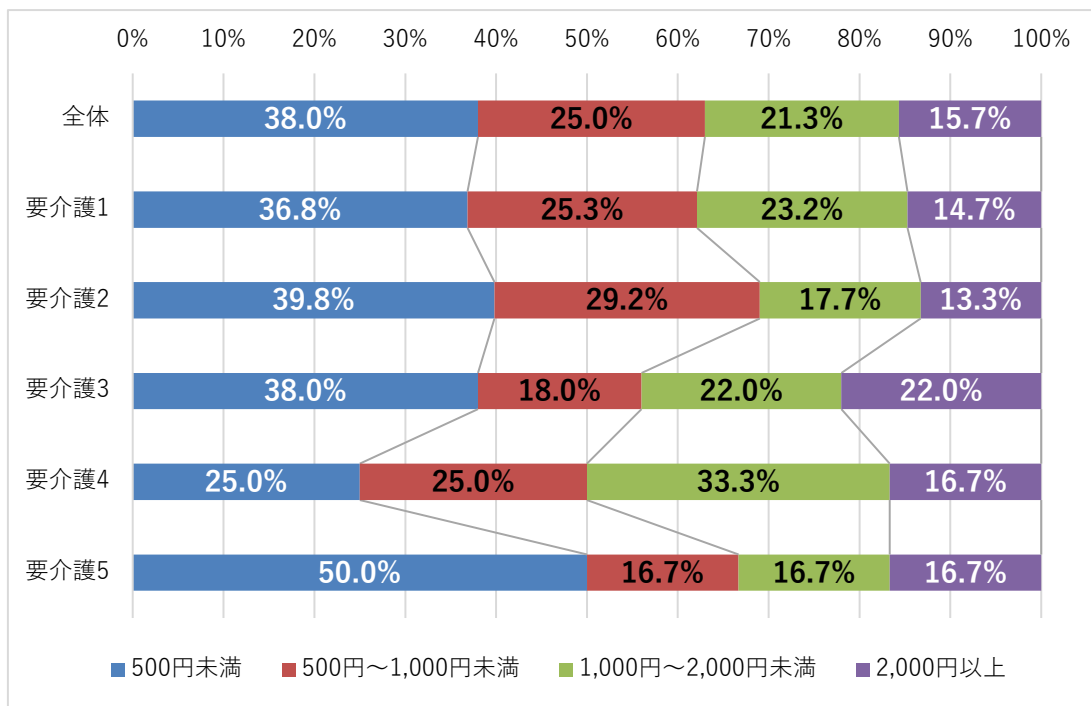
(Q6「**適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金**」(SA) ×  
Q1「**要介護度**」(SA) ) (N=300)

- ・要介護度別に、「**適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金**」をみると、「**要介護4**」を除いて「**500円未満**」の回答が最も多く、中でも、「**要介護5**」においては、その回答が50.0%に達している。
- ・「**要介護4**」では、「**1,000円～2,000円未満**」の回答が最も多く33.3%であった。
- ・ひと月あたりのケアマネジメント料金が「**2,000円以上**」の回答に着目してみると、「**要介護3**」は22.0%であるが、それ以外の要介護度では、おおむね13～16%の回答割合であった。
- ・要介護度別の平均額は、「**要介護5**」が最も低く916.16円、「**要介護4**」が最も高く1027.83円であった。

【参考】図表3-15：Q6「**適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金**」(SA)と  
Q1「**要介護度**」(SA)のクロス集計(N=300)

	全体	500円 未満	500円 ～ 1,000 円未満	1,000 円～ 2,000 円未満	2,000 円以上	平均額
	300	114	75	64	47	
全体	100.0%	38.0%	25.0%	21.3%	15.7%	1014.50
	95	35	24	22	14	
要介護1	100.0%	36.8%	25.3%	23.2%	14.7%	1017.92
	113	45	33	20	15	
要介護2	100.0%	39.8%	29.2%	17.7%	13.3%	926.49
	50	19	9	11	11	
要介護3	100.0%	38.0%	18.0%	22.0%	22.0%	1109.50
	24	6	6	8	4	
要介護4	100.0%	25.0%	25.0%	33.3%	16.7%	1027.83
	18	9	3	3	3	
要介護5	100.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	916.16

カイ2乗検定： $p>.05$



【クロス集計】

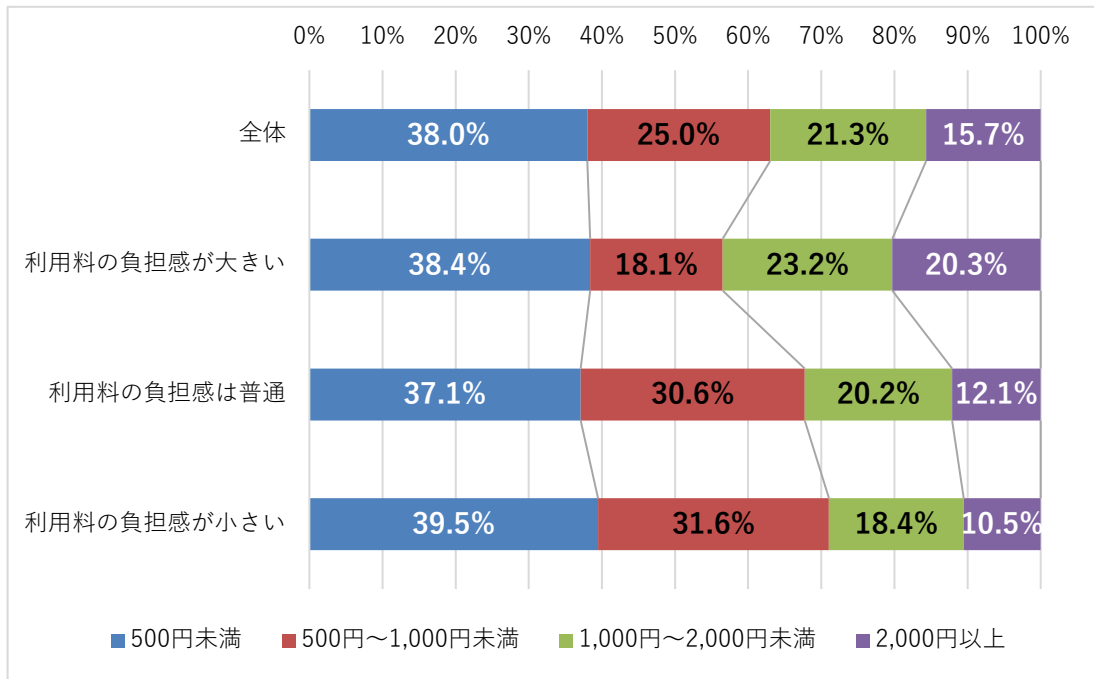
(Q6「**適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金**」(SA) ×  
Q2「**介護保険サービスの利用料の負担感**」(SA) ) (N=300)

- ・介護保険サービスの利用料に対する回答者（利用者本人）の負担感別に、「適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金」をみると、すべての負担感において「500円未満」の回答が最も多く、37%を超えている。
- ・ひと月あたりのケアマネジメント料金が「2,000円以上」の回答に着目してみると、利用料の負担感が「小さい」においては10.5%と最も低く、負担感が「大きい」では20.3%とその回答割合が大きい。  
利用料の負担感が「大きい」（増す）ほど、「2,000円以上」とする回答の割合が高くなっている。
- ・利用料の負担感別の平均額は、負担感が「小さい」が最も低く894.23円、「大きい」が最も高く1093.70円であった。

図表3-16：Q6「**適当と考えるひと月あたりのケアマネジメント料金**」(SA) と  
Q2「**介護保険サービスの利用料の負担感**」(SA) のクロス集計 (N=300)

	全体	500円 未満	500円 ～ 1,000 円未満	1,000 円～ 2,000 円未満	2,000 円以上	平均額
	300	114	75	64	47	
全体	100.0%	38.0%	25.0%	21.3%	15.7%	1014.50
	138	53	25	32	28	
利用料の負担感が大きい	100.0%	38.4%	18.1%	23.2%	20.3%	1093.70
	124	46	38	25	15	
利用料の負担感は普通	100.0%	37.1%	30.6%	20.2%	12.1%	947.08
	38	15	12	7	4	
利用料の負担感が小さい	100.0%	39.5%	31.6%	18.4%	10.5%	894.23

カイ2乗検定： $p > .05$



**Q7. 仮に、ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントが有料化となった場合、介護保険サービスの利用に際して、あなたはどのような対応を取りますか。最も近いものをひとつお答えください。[SA] (N=300)**

・仮に、ケアマネジメントが有料化となった場合、介護保険サービスの利用にあたっての回答者（利用者本人）の対応は、

「①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける」が最も多く、約半数の49.7%を占めている。

一方で、「③利用する介護保険サービスを減らす」の回答が17.3%みられた。

・なお、当調査『有料化調査（利用者本人調査）』とは別の『有料化調査（家族等調査）』でも、

「有料化となった場合、あなた（主介護者）はどのような対応を利用者に望むか」を問うているが、その回答は、

・「有料化でも継続して介護保険サービスを利用して欲しい」は61.5%、

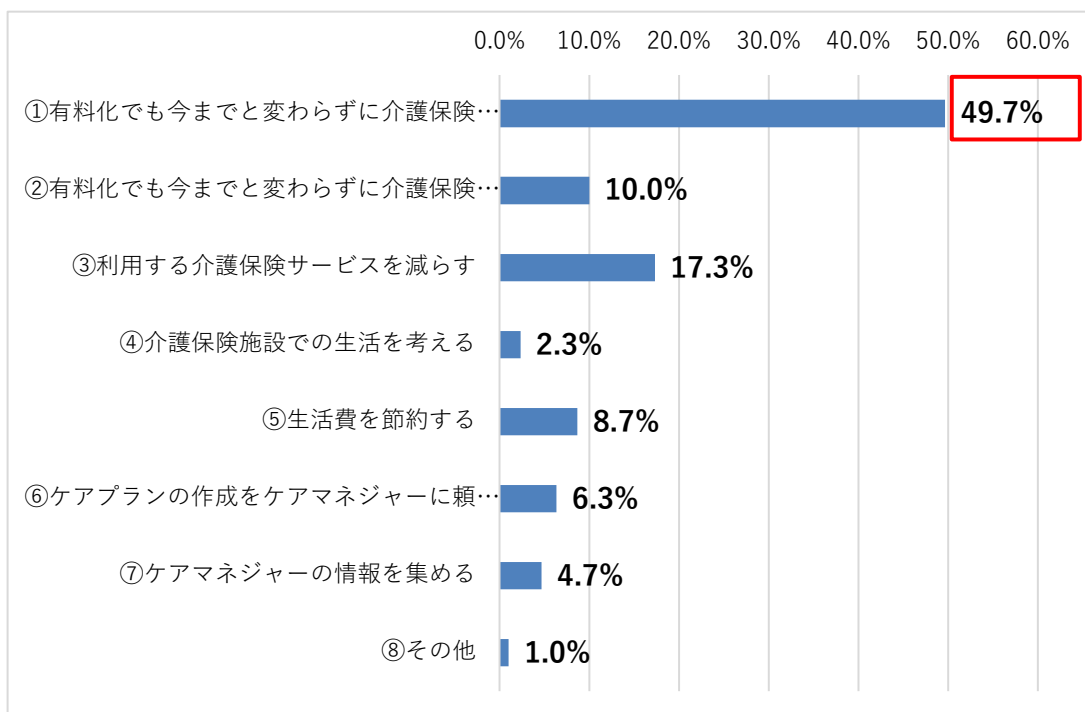
・「利用する介護保険サービスを減らして欲しい」は5.7%であった。

一方、別の『有料化調査（介護支援専門員調査）』においては、有料化とした場合の影響（デメリット）として、「サービスの利用控えが増える」の回答が多かった（53.9%）。

（【参考】図表3-18：「有料化となった場合、あなたはどのような対応を取るか（被介護者に望む対応）」（SA）（『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布を参照）

**図表3-17：Q7「ケアマネジメントが有料化となった場合、介護保険サービスの利用にあたっての対応」（SA）の分布**

	N	%
①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける	149	49.7%
②有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える	30	10.0%
③利用する介護保険サービスを減らす	52	17.3%
④介護保険施設での生活を考える	7	2.3%
⑤生活費を節約する	26	8.7%
⑥ケアプランの作成をケアマネジャーに頼むことをやめて、自分または家族等で作成する	19	6.3%
⑦ケアマネジャーの情報を集める	14	4.7%
⑧その他	3	1.0%
全体	300	100.0%



【参考】図表3-18：「有料化となった場合、あなたはどのような対応を取るか（被介護者に望む対応）」（SA）（『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布 ※一部抜粋

	『利用者本人調査』 (N=300)		『家族等調査』 (N= 1,300)	
	N	%	N	%
①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける（介護保険サービスを利用して欲しい）	149	49.7%	800	61.5%
③利用する介護保険サービスを減らす（介護保険サービスを減らして欲しい）	52	17.3%	74	5.7%

※『介護支援専門員調査』では、有料化のデメリットとして『サービスの利用控えが増える』の回答が多かった（53.9%）。

## 【クロス集計】

(Q7「ケアマネジメントが有料化となった場合の回答者（利用者本人）の対応」(SA)

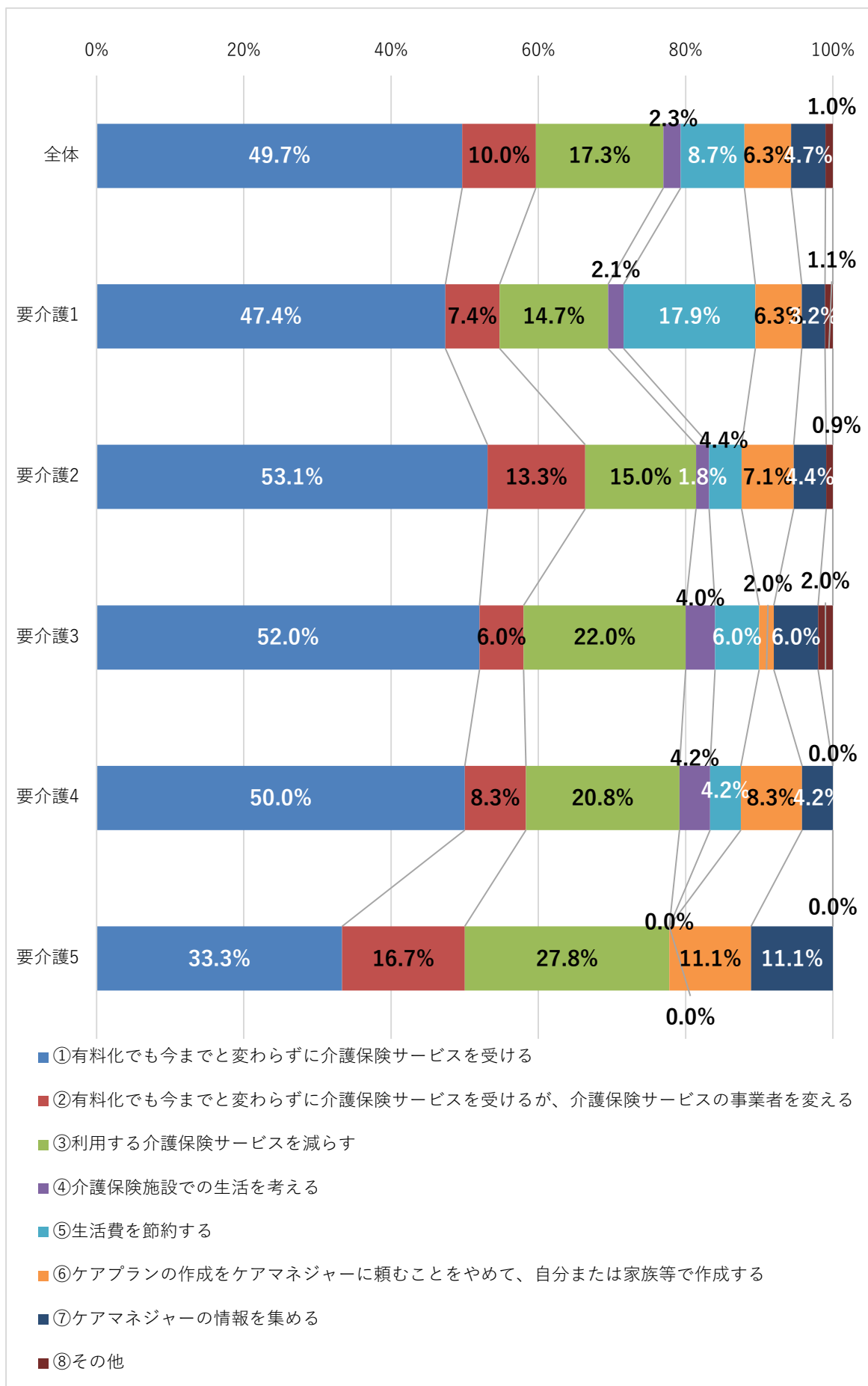
× Q1「要介護度」(SA) (N=300)

- ・要介護度別に、「ケアマネジメントが有料化となった場合、介護保険サービスの利用にあたっての回答者（利用者本人）の対応」をみると、すべての要介護度において、「①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける」の回答が最も多い。  
中でも、「要介護2～4」においては、その回答の割合が50%を超えている。
- ・「要介護1」においては、  
「⑤生活費を節約する」の回答が、他の要介護度に比べ大きく17.9%であった。
- ・「要介護5」においては、  
「②有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える」(16.7%)、  
「③利用する介護保険サービスを減らす」(27.8%)、  
「⑥ケアプランの作成をケアマネジャーに頼むことをやめて、自分または家族等で作成する」(11.1%)、  
「⑦ケアマネジャーの情報を集める」(11.1%)の回答が、他の要介護度に比べ大きい。
- ・「③利用する介護保険サービスを減らす」の回答に着目してみると、  
「要介護1」が最も低く14.7%、「要介護5」が最も高く27.8%であった。

図表3-19：Q7「ケアマネジメントが有料化となった場合の回答者（利用者本人）の対応」（SA）とQ1「要介護度」（SA）のクロス集計（N=300）

	全体	①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける	②有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える	③利用する介護保険サービスを減らす	④介護保険施設での生活を考える	⑤生活費を節約する	⑥ケアプランの作成をケアマネジャーに頼むことをやめて、自分または家族等で作成する	⑦ケアマネジャーの情報を集める	⑧その他
	300	149	30	52	7	26	19	14	3
全体	100.0%	49.7%	10.0%	17.3%	2.3%	8.7%	6.3%	4.7%	1.0%
	95	45	7	14	2	17	6	3	1
要介護1	100.0%	47.4%	7.4%	14.7%	2.1%	17.9%	6.3%	3.2%	1.1%
	113	60	15	17	2	5	8	5	1
要介護2	100.0%	53.1%	13.3%	15.0%	1.8%	4.4%	7.1%	4.4%	0.9%
	50	26	3	11	2	3	1	3	1
要介護3	100.0%	52.0%	6.0%	22.0%	4.0%	6.0%	2.0%	6.0%	2.0%
	24	12	2	5	1	1	2	1	0
要介護4	100.0%	50.0%	8.3%	20.8%	4.2%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%
	18	6	3	5	0	0	2	2	0
要介護5	100.0%	33.3%	16.7%	27.8%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%

カイ2乗検定： $p>.05$



【クロス集計】

(Q7「ケアマネジメントが有料化となった場合の回答者（利用者本人）の対応」(SA)

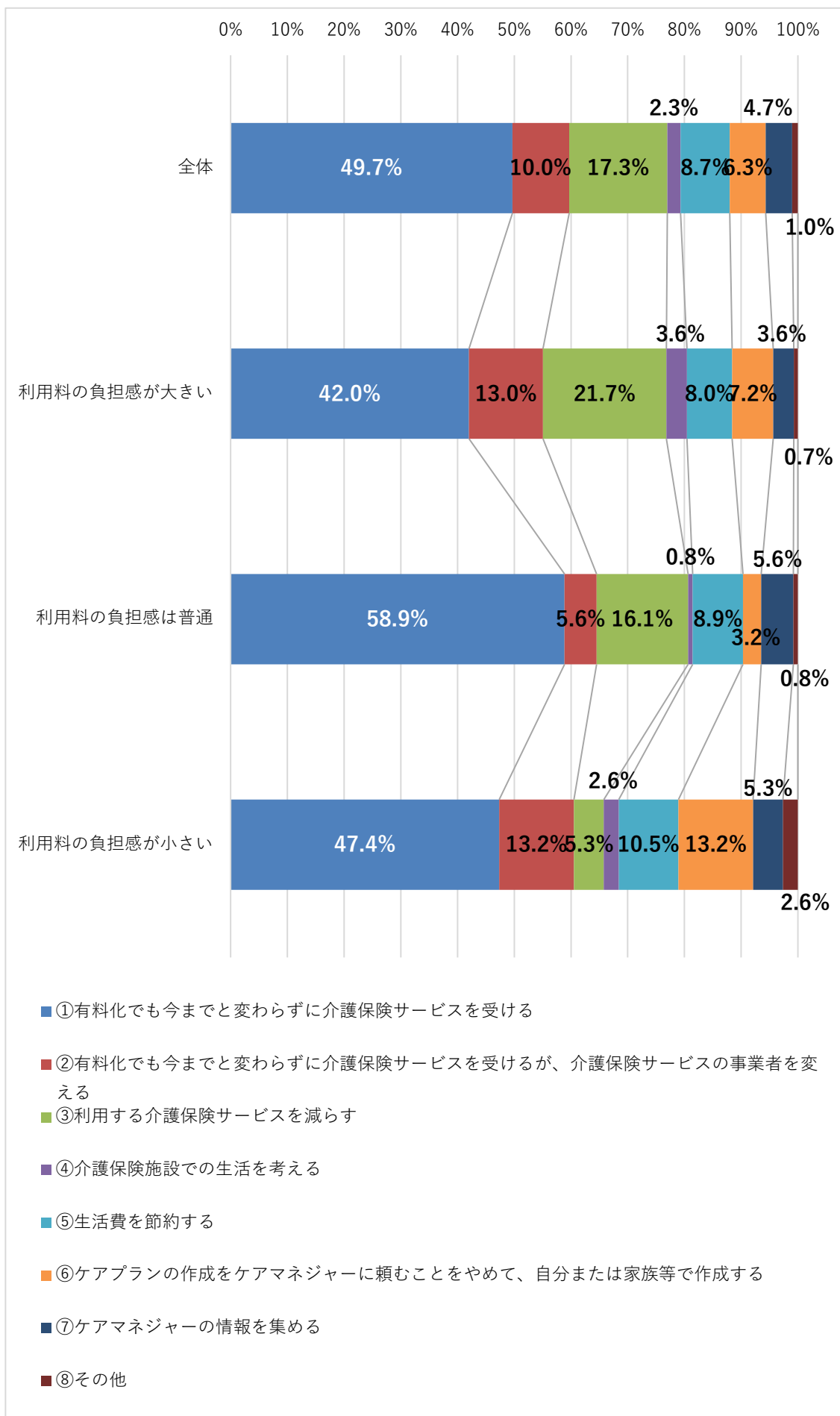
× Q2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA) (N=300)

- ・介護保険サービスの利用料に対する回答者（利用者本人）の負担感別に、「ケアマネジメントが有料化となった場合、介護保険サービスの利用にあたっての回答者（利用者本人）の対応」をみると、すべての負担感において、「①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける」の回答が最も多い。中でも、負担感が「普通」においては、その回答の割合が58.9%を占めている。
- ・「②有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える」に着目してみると、利用料の負担感が「普通」の回答は5.6%と低く、負担感が「大きい」（13.0%）と「小さい」（13.2%）では、その回答割合が13%を超えており、二極化がみられた。
- ・さらに、「③利用する介護保険サービスを減らす」の回答に着目してみると、利用料の負担感が大きいものほど、その回答の割合が大きい。一方で、「⑤生活費を節約する」の回答では、利用料の負担感が「大きい」（8.0%）よりも負担感が「小さい」（10.5%）としたものにおいて、生活費を節約すると回答した割合が大きい。

図表3-20：Q7「ケアマネジメントが有料化となった場合の回答者（利用者本人）の対応」(SA)とQ2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA)のクロス集計 (N=300)

	全体	①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける	②有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える	③利用する介護保険サービスを減らす	④介護保険施設での生活を考える	⑤生活費を節約する	⑥ケアプランの作成をケアマネジャーに頼むことをやめて、自分または家族等で作成する	⑦ケアマネジャーの情報を集める	⑧その他
全体	300	149	30	52	7	26	19	14	3
	100.0%	49.7%	10.0%	17.3%	2.3%	8.7%	6.3%	4.7%	1.0%
利用料の負担感が大きい	138	58	18	30	5	11	10	5	1
	100.0%	42.0%	13.0%	21.7%	3.6%	8.0%	7.2%	3.6%	0.7%
利用料の負担感 は普通	124	73	7	20	1	11	4	7	1
	100.0%	58.9%	5.6%	16.1%	0.8%	8.9%	3.2%	5.6%	0.8%
利用料の負担感 が小さい	38	18	5	2	1	4	5	2	1
	100.0%	47.4%	13.2%	5.3%	2.6%	10.5%	13.2%	5.3%	2.6%

カイ2乗検定： $p > .05$



【クロス集計】

(Q7「ケアマネジメントが有料化となった場合の回答者（利用者本人）の対応」（SA）

× Q3「ケアマネジャーに対する満足度」（SA）（N=300）

・ケアマネジャーに対する回答者（利用者本人）の満足度別に、「ケアマネジメントが有料化となった場合、介護保険サービスの利用にあたっての回答者（利用者本人）の対応」をみると、

「やや不満」を除くすべてにおいて、「①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける」の回答が最も多い。

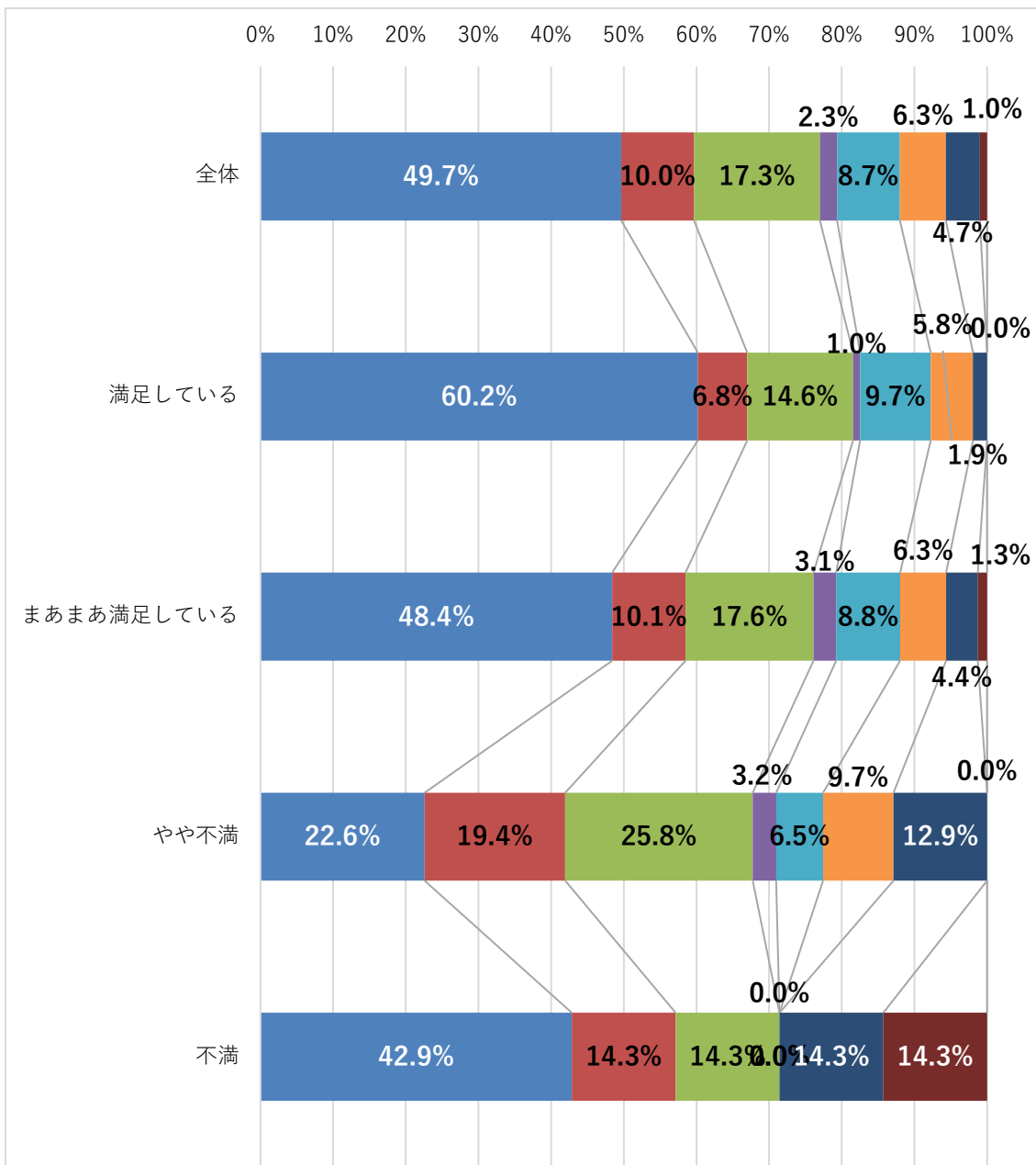
・「⑦ケアマネジャーの情報を集める」の回答に着目してみると、

ケアマネジャーに対して、「満足」（1.9%）と、「まあまあ満足している」（4.4%）では回答割合が低いが、

「やや不満」では、12.9%、「不満」では14.3%と、「不満」を感じるにつれ、その割合が大きくなっている。

図表3-21：Q7「ケアマネジメントが有料化となった場合の回答者（利用者本人）の対応」（SA）とQ3「ケアマネジャーに対する満足度」（SA）のクロス集計（N=300）

	全体	①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける	②有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える	③利用する介護保険サービスを減らす	④介護保険施設での生活を考える	⑤生活費を節約する	⑥ケアプランの作成をケアマネジャーに頼むことをやめて、自分または家族等で作成する	⑦ケアマネジャーの情報を集める	⑧その他
全体	300 100.0%	149 49.7%	30 10.0%	52 17.3%	7 2.3%	26 8.7%	19 6.3%	14 4.7%	3 1.0%
満足している	103 100.0%	62 60.2%	7 6.8%	15 14.6%	1 1.0%	10 9.7%	6 5.8%	2 1.9%	0 0.0%
まあまあ満足している	159 100.0%	77 48.4%	16 10.1%	28 17.6%	5 3.1%	14 8.8%	10 6.3%	7 4.4%	2 1.3%
やや不満	31 100.0%	7 22.6%	6 19.4%	8 25.8%	1 3.2%	2 6.5%	3 9.7%	4 12.9%	0 0.0%
不満	7 100.0%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%



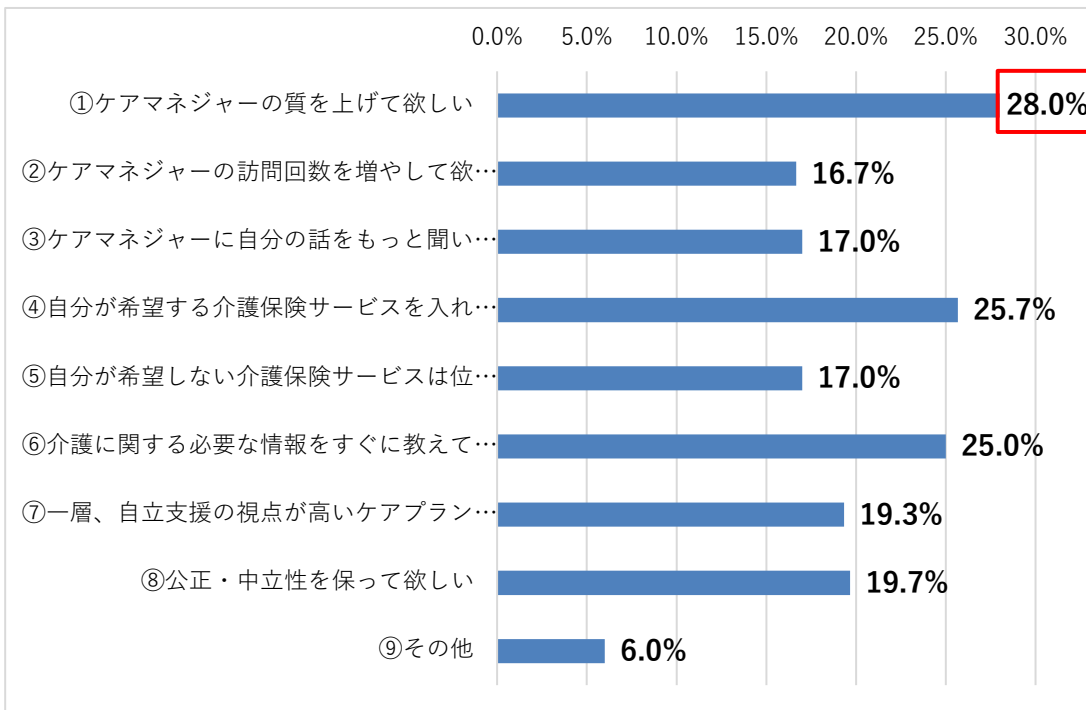
- ①有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける
- ②有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える
- ③利用する介護保険サービスを減らす
- ④介護保険施設での生活を考える
- ⑤生活費を節約する
- ⑥ケアプランの作成をケアマネジャーに頼むことをやめて、自分または家族等で作成する
- ⑦ケアマネジャーの情報を集める
- ⑧その他

**Q8. 仮に、ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントが有料化となった場合、あなたがケアマネジャーに望むことはなんですか。望むことを最大3つお答えください。[LA] (N=300)**

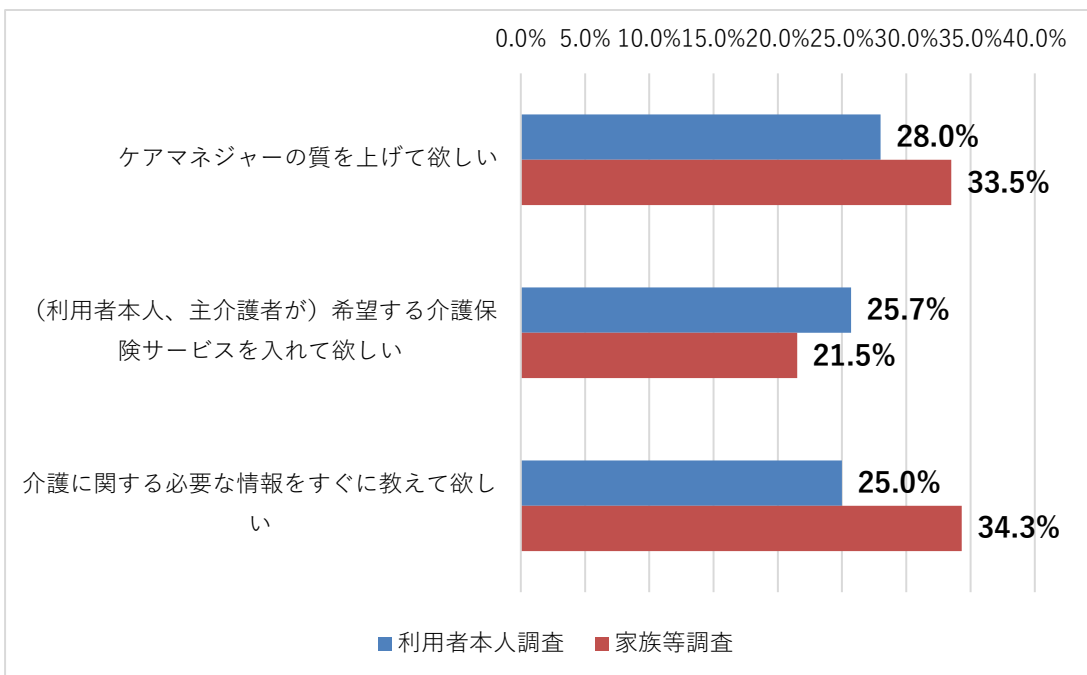
- ・仮に、ケアマネジメントが有料化となった場合、回答者（利用者本人）がケアマネジャーに望むことは、
    - 「①ケアマネジャーの質を上げて欲しい」（28.0%）が最も多く、
    - 次いで「④自分が希望する介護保険サービスを入れて欲しい」（25.7%）、
    - 「⑥介護に関する必要な情報をすぐに教えて欲しい」（25.0%）が多い。
  - ・「③ケアマネジャーに自分の話をもっと聞いて欲しい」（17.0%）、
  - 「⑤自分が希望しない介護保険サービスは位置づけないで欲しい」（17.0%）という回答も一定数みられた。
  - ・「⑨その他」の記述をしてみると、「特になし」（N=11）の回答が多くみられたほか、「介護保険制度の廃止」（N=2）の記述がみられた。
  - ・なお、当調査『有料化調査（利用者本人調査）』と同じ設問を、別調査『有料化調査（家族等調査）』においても問うているが、順位は違うが上位3つは同じであり、
    - 「介護に関する必要な情報をすぐに教えて欲しい」（34.3%）、
    - 「ケアマネジャーの質を上げてほしい」（33.5%）、
    - 「希望する介護保険サービスを入れて欲しい」（21.5%）であった。
- （【参考】図表3-23：「有料化となった場合、ケアマネジャーに望むこと」（LA）（『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布を参照）

**図表3-22：Q8「ケアマネジメントが有料化となった場合、「ケアマネジャー」に望むこと」（LA）の分布**

	N	%
①ケアマネジャーの質を上げて欲しい	84	28.0%
②ケアマネジャーの訪問回数を増やして欲しい	50	16.7%
③ケアマネジャーに自分の話をもっと聞いて欲しい	51	17.0%
④自分が希望する介護保険サービスを入れて欲しい	77	25.7%
⑤自分が希望しない介護保険サービスは位置づけないで欲しい	51	17.0%
⑥介護に関する必要な情報をすぐに教えて欲しい	75	25.0%
⑦一層、自立支援の視点が高いケアプランを作って欲しい	58	19.3%
⑧公正・中立性を保って欲しい	59	19.7%
⑨その他	18	6.0%
全体	300	100.0%



【参考】図表3-23：「有料化となった場合、ケアマネジャーに望むこと」（LA）  
（『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布 ※回答の上位3つ



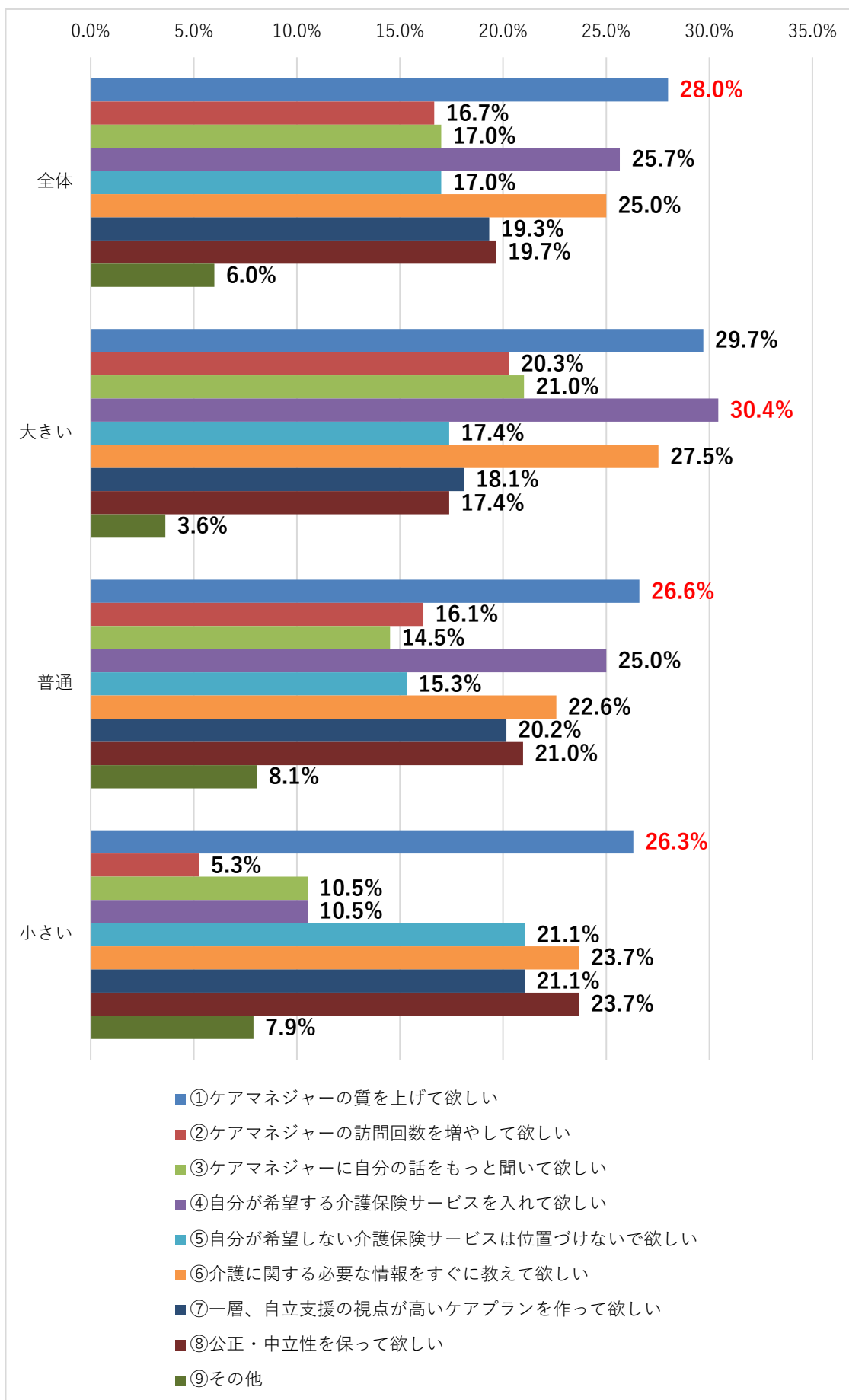
【クロス集計】

(Q8「ケアマネジメントが有料化となった場合、ケアマネジャーに望むこと」(LA) × Q2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA) ) (N=300)

- ・介護保険サービスの利用料に対する回答者（利用者本人）の負担感別に、「ケアマネジメントが有料化となった場合、ケアマネジャーに望むこと」をみると、利用料の負担感が「大きい」の回答においては、「④自分が希望する介護保険サービスを入れて欲しい」（30.4%）が最も多く、負担感が「普通」、「小さい」の回答においては、「①ケアマネジャーの質を上げて欲しい」の回答が最も多い（普通：26.6%、小さい：26.3%）。
- ・利用料の負担感が「小さい」の回答においては、
  - 「②ケアマネジャーの訪問回数を増やして欲しい」（5.3%）、
  - 「③ケアマネジャーに自分の話をもっと聞いて欲しい」（10.5%）、
  - 「④自分が希望する介護保険サービスを入れて欲しい」（10.5%）
 の回答が他の負担感の回答に比べ少なく、その差も大きい。
- ・利用料の負担感が「大きい」の回答においては、
  - 「①ケアマネジャーの質を上げて欲しい」（29.7%）、
  - 「②ケアマネジャーの訪問回数を増やして欲しい」（20.3%）、
  - 「③ケアマネジャーに自分の話をもっと聞いて欲しい」（21.0%）、
  - 「④自分が希望する介護保険サービスを入れて欲しい」（30.4%）、
  - 「⑥介護に関する必要な情報をすぐに教えて欲しい」（27.5%）
 の回答が他の負担感に比べ多い。

図表3-24：Q8「ケアマネジメントが有料化となった場合、ケアマネジャーに望むこと」(LA)と Q2「介護保険サービスの利用料の負担感」(SA)のクロス集計 (N=300)

	全体	①ケアマネジャーの質を上げて欲しい	②ケアマネジャーの訪問回数を増やして欲しい	③ケアマネジャーに自分の話をもっと聞いて欲しい	④自分が希望する介護保険サービスを入れて欲しい	⑤自分が希望しない介護保険サービスは位置づけたくない	⑥介護に関する必要な情報をすぐに教えて欲しい	⑦一層、自立支援の視点が高いケアプランを作って欲しい	⑧公正・中立性を保って欲しい	⑨その他
全体	300	84	50	51	77	51	75	58	59	18
	100.0%	28.0%	16.7%	17.0%	25.7%	17.0%	25.0%	19.3%	19.7%	6.0%
負担感が大きい	138	41	28	29	42	24	38	25	24	5
	100.0%	29.7%	20.3%	21.0%	30.4%	17.4%	27.5%	18.1%	17.4%	3.6%
負担感が普通	124	33	20	18	31	19	28	25	26	10
	100.0%	26.6%	16.1%	14.5%	25.0%	15.3%	22.6%	20.2%	21.0%	8.1%
負担感が小さい	38	10	2	4	4	8	9	8	9	3
	100.0%	26.3%	5.3%	10.5%	10.5%	21.1%	23.7%	21.1%	23.7%	7.9%



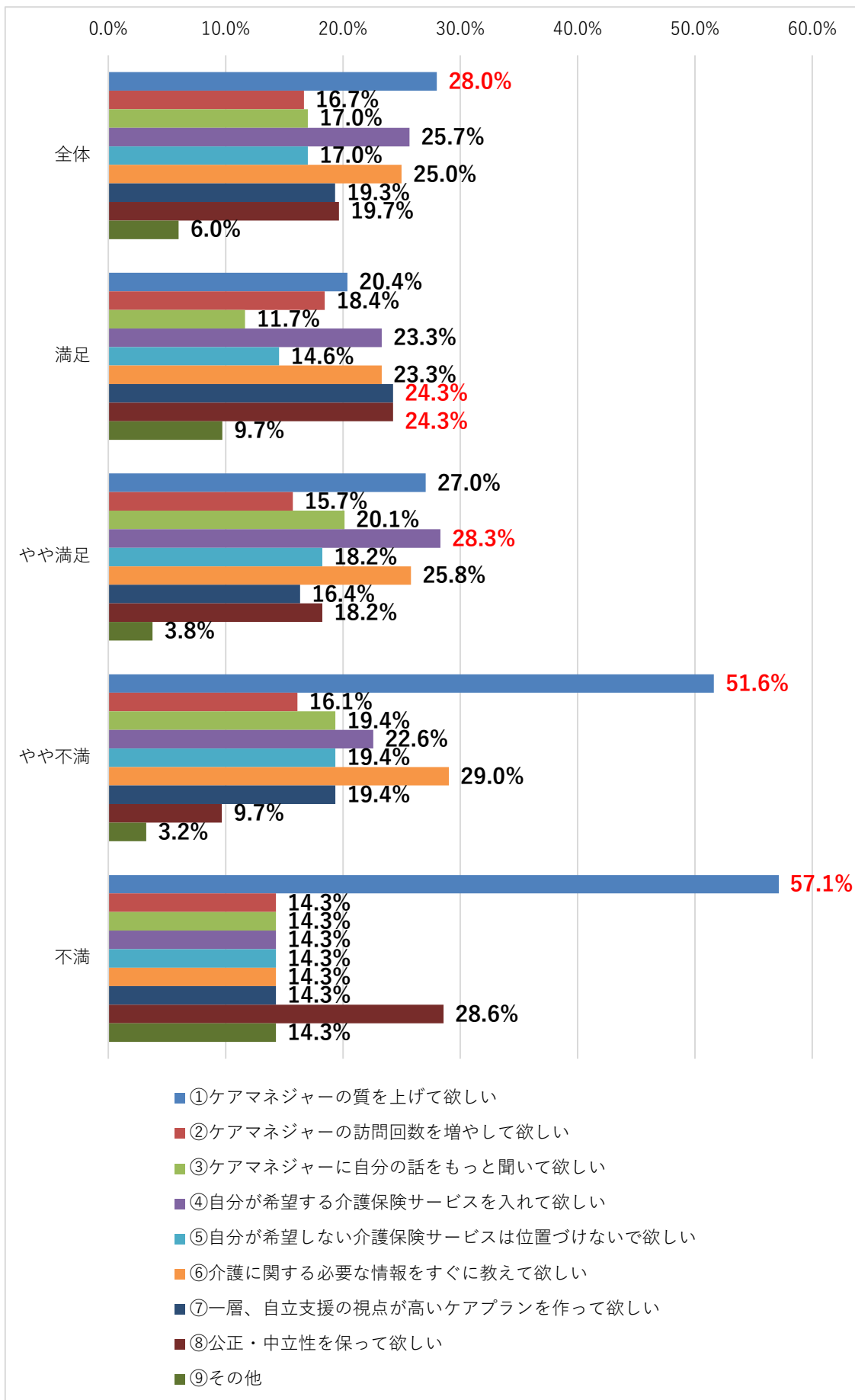
【クロス集計】

(Q8「ケアマネジメントが有料化となった場合、ケアマネジャーに望むこと」(LA) × Q3「ケアマネジャーに対する満足度」(SA)) (N=300)

- ・ケアマネジャーに対する満足度別に、「ケアマネジメントが有料化となった場合、ケアマネジャーに望むこと」をみると、  
「やや不満」、「不満」においては、「①ケアマネジャーの質を上げて欲しい」の回答が最も多く、50%を超えている。
- ・ケアマネジャーに対して「満足」の回答においては、  
「⑦一層、自立支援の視点が高いケアプランを作って欲しい」(24.3%)、  
「⑧公正・中立性を保って欲しい」(24.3%)  
の回答が最も多い。
- ・「⑧公正・中立性を保って欲しい」の回答に着目してみると、  
ケアマネジャーに対して「不満」(28.6%)、「満足」(24.3%)の回答が多い。  
※「やや不満」「不満」のN数が少ないことに留意が必要。

図表3-25：Q8「ケアマネジメントが有料化となった場合、ケアマネジャーに望むこと」(LA)とQ3「ケアマネジャーに対する満足度」(SA)のクロス集計(N=300)

	全体	①ケアマネジャーの質を上げて欲しい	②ケアマネジャーの訪問回数を増やして欲しい	③ケアマネジャーに自分の話をもっと聞いて欲しい	④自分が希望する介護保険サービスを入れて欲しい	⑤自分が希望しない介護保険サービスは位置づけないで欲しい	⑥介護に関する必要な情報をすぐに教えて欲しい	⑦一層、自立支援の視点が高いケアプランを作って欲しい	⑧公正・中立性を保って欲しい	⑨その他
	300	84	50	51	77	51	75	58	59	18
全体	100.0%	28.0%	16.7%	17.0%	25.7%	17.0%	25.0%	19.3%	19.7%	6.0%
満足	103	21	19	12	24	15	24	25	25	10
	100.0%	20.4%	18.4%	11.7%	23.3%	14.6%	23.3%	24.3%	24.3%	9.7%
やや満足	159	43	25	32	45	29	41	26	29	6
	100.0%	27.0%	15.7%	20.1%	28.3%	18.2%	25.8%	16.4%	18.2%	3.8%
やや不満	31	16	5	6	7	6	9	6	3	1
	100.0%	51.6%	16.1%	19.4%	22.6%	19.4%	29.0%	19.4%	9.7%	3.2%
不満	7	4	1	1	1	1	1	1	2	1
	100.0%	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%



**Q9. 仮に、ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントが有料化となった場合、あなたが「介護保険制度」に望むことはなんですか。望むことを最大3つお答えください。[LA] (N=300)**

・仮に、ケアマネジメントが有料化となった場合、回答者（利用者本人）が介護保険制度に望むことをみると、

「⑤介護保険サービスの利用料の減額」（39.7%）が最も多く、  
次いで「④要介護認定の更新手続きの簡素化」（38.0%）、  
「③要介護認定の迅速化」（34.0%）、  
「②ケアマネジャーの質の平準化」（31.3%）が多い。

・「⑧その他」の記述をみると、「特になし」（N=5）の回答が多くみられた。

・なお、当調査『有料化調査（利用者本人調査）』と同じ設問を、別調査『有料化調査（家族等調査）』においても問うているが、上位4つは同じであり、

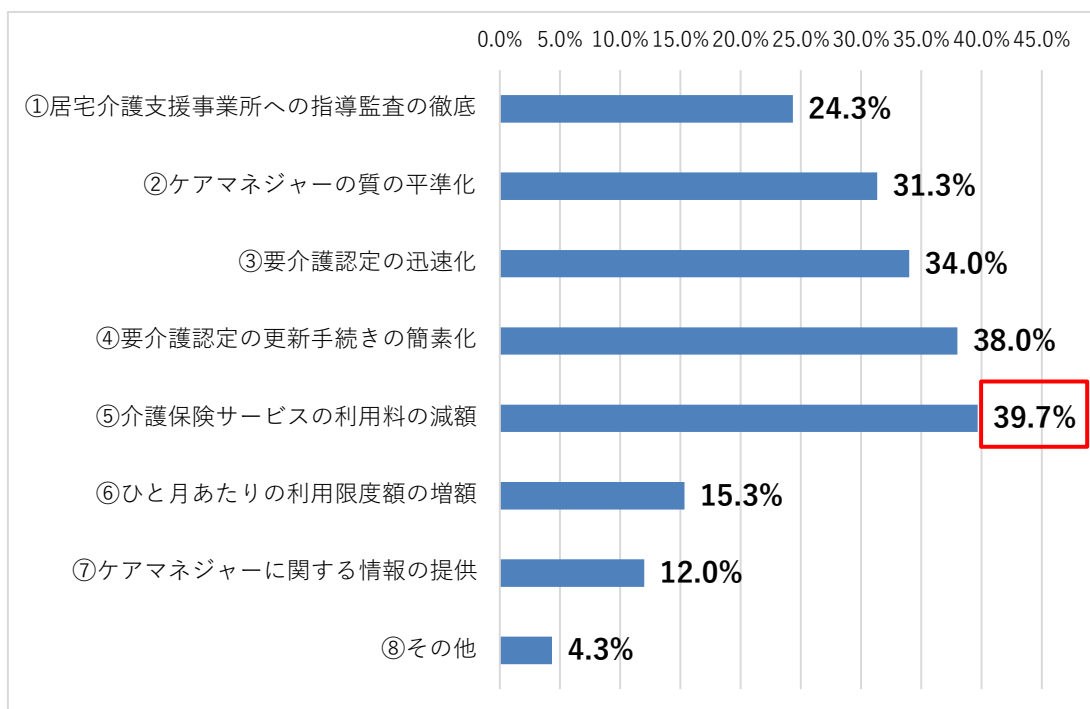
「⑤介護保険サービスの利用料の減額」（39.1%）が最も多く、  
次いで「④要介護認定の更新手続きの簡素化」（38.8%）、  
「③要介護認定の迅速化」（37.5%）、  
「②ケアマネジャーの質の平準化」（34.8%）であった。

また、「⑥ひと月あたりの利用限度額の増額」は、当調査の『利用者本人調査』では、15.3%の回答であったが、『家族等調査』では、30.4%の回答であった。

（【参考】図表3-27：「介護保険制度に望むこと」（LA）（『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布を参照）

**図表3-26：Q9「ケアマネジメントが有料化となった場合、「介護保険制度」に望むこと」（LA）の分布**

	N	%
①居宅介護支援事業所への指導監査の徹底	73	24.3%
②ケアマネジャーの質の平準化	94	31.3%
③要介護認定の迅速化	102	34.0%
④要介護認定の更新手続きの簡素化	114	38.0%
⑤介護保険サービスの利用料の減額	119	39.7%
⑥ひと月あたりの利用限度額の増額	46	15.3%
⑦ケアマネジャーに関する情報の提供	36	12.0%
⑧その他	13	4.3%
全体	300	100.0%



【参考】図表3-27：「介護保険制度に望むこと」（LA）（『利用者本人調査』と『家族等調査』の比較）の分布

	『利用者本人調査』 (N=300)		『家族等調査』 (N= 1,300)	
	N	%	N	%
①居宅介護支援事業所への指導監査の徹底	73	24.3%	314	24.2%
②ケアマネジャーの質の平準化	94	31.3%	452	34.8%
③要介護認定の迅速化	102	34.0%	487	37.5%
④要介護認定の更新手続きの簡素化	114	38.0%	505	38.8%
⑤介護保険サービスの利用料の減額	<u>119</u>	<u>39.7%</u>	<u>508</u>	<u>39.1%</u>
⑥ひと月あたりの利用限度額の増額	46	15.3%	395	30.4%
⑦ケアマネジャーに関する情報の提供	36	12.0%	162	12.5%
⑧その他	13	4.3%	24	1.8%
合計	300	100.0%	1300	100.0%



## (4) 調査票

※Q1～Q2は、令和7年10月1日時点のあなた自身のことについてご回答ください。

Q	中項目	回答形式	選択肢等
1	あなたの現在の要介護認定区分をお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5
2	現在、あなたが利用している介護保険サービスの利用料の負担感をお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	大きい やや大きい 普通 やや小さい 小さい

※あなたが介護保険サービスを利用するに当たって、ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントは、介護保険制度創設以降、利用者負担を徴収していません。

それらを踏まえ、以下の問いにお答えください。

※Q3～Q9は、指示がない限り、令和7年10月1日時点でお答えください。

Q	中項目	回答形式	選択肢等
3	あなたを担当しているケアマネジャーに対する満足度をお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	満足している まあまあ満足している やや不満 不満
4	ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントが無料（あなたの自己負担は生じない）であることを知っていますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	知っている 聞いたことはあるが、詳しくは知らない 知らない

<p>5 ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントを有料化（あなたの自己負担が生じる）とした場合、あなたのご意見をお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】</p>	S A	<p>大いに賛成</p> <hr/> <p>どちらかという賛成</p> <hr/> <p>どちらかという反対</p> <hr/> <p>大いに反対</p>
<p>6 仮に、ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントが有料化となった場合、<u>ひと月あたり、いくらぐらいが適当な金額だ</u>と思いますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】</p>	S A	<p>500円未満</p> <hr/> <p>500円～1,000円未満</p> <hr/> <p>1,000円～1,500円未満</p> <hr/> <p>1,500円～2,000円未満</p> <hr/> <p>2,000円～2,500円未満</p> <hr/> <p>2,500円～3,000円未満</p> <hr/> <p>3,000円以上</p>
<p>7 仮に、ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントが有料化となった場合、介護保険サービスの利用に際して、あなたはどのような対応を取りますか。 最も近いものをひとつお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】</p>	S A	<p>有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受ける</p> <hr/> <p>有料化でも今までと変わらずに介護保険サービスを受けるが、介護保険サービスの事業者を変える</p> <hr/> <p>利用する介護保険サービスを減らす</p> <hr/> <p>介護保険施設での生活を考える</p> <hr/> <p>生活費を節約する</p> <hr/> <p>ケアプランの作成をケアマネジャーに頼むことをやめて、自分または家族等で作成する</p> <hr/> <p>ケアマネジャーの情報を集める</p> <hr/> <p>その他（ ）</p>

<p>8 仮に、ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントが有料化となった場合、あなたがケアマネジャーに望むことはなんですか。望むことを最大3つお答えください。 【必須/該当するものを最大3つ選択】</p>	<p>LA</p>	<p>ケアマネジャーの質を上げて欲しい</p> <hr/> <p>ケアマネジャーの訪問回数を増やして欲しい</p> <hr/> <p>ケアマネジャーに自分の話をもっと聞いて欲しい</p> <hr/> <p>自分が希望する介護保険サービスを入れて欲しい</p> <hr/> <p>自分が希望しない介護保険サービスは位置づけないで欲しい</p> <hr/> <p>介護に関する必要な情報をすぐに教えて欲しい</p> <hr/> <p>一層、自立支援の視点が高いケアプランを作って欲しい</p> <hr/> <p>公正・中立性を保って欲しい</p> <hr/>
<p>9 仮に、ケアマネジャーが行う毎月の訪問やケアプラン作成等をはじめとするケアマネジメントが有料化となった場合、あなたが「介護保険制度」に望むことはなんですか。望むことを最大3つお答えください。 【必須/該当するものを最大3つ選択】</p>	<p>LA</p>	<p>居宅介護支援事業所への指導監査の徹底</p> <hr/> <p>ケアマネジャーの質の平準化</p> <hr/> <p>要介護認定の迅速化</p> <hr/> <p>要介護認定の更新手続きの簡素化</p> <hr/> <p>介護保険サービスの利用料の減額</p> <hr/> <p>ひと月あたりの利用限度額の増額</p> <hr/> <p>ケアマネジャーに関する情報の提供</p> <hr/> <p>その他（ ）</p>

「居宅介護支援（ケアマネジメント）に係る利用者負担導入による影響調査」  
～居宅介護支援利用者調査～  
とりまとめ報告書

---

令和8（2026）年3月発行  
発行 一般財団法人 長寿社会開発センター  
〒105-8446 東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル6階  
TEL：03-5470-6751 FAX：03-5470-6762

---

不許複製